

作成年月日	令和2年12月21日
作成部局課	企画県民部政策調整課

令和3年 新年の抱負

兵 庫 県

ポストコロナの新時代に挑む

令和3年が幕を開けました。昨年、新型コロナウイルスとの闘いの年でしたが、未だ終息にはほど遠い状況です。

一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生や情報ネットワーク化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和3年は本格的に歩みを進める年とします。

第一の柱は、新型コロナウイルス対策の充実。

自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることにつながります。是非、ご協力をお願いします。

第二は、兵庫の元気回復。

経済・雇用の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。

“都市部から地方へ”の潮流を捉え、地方回帰の定着など地域創生の取組を加速化させ、人や企業の流れを兵庫へ呼び込みます。芸術文化観光専門職大学（豊岡市）は4月に開学します。

第三は、安全安心の基盤強化。

コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。自然災害と感染症との複合災害への備えも強化します。

子ども・子育て支援、高齢者支援、ユニバーサル社会づくりなど、県民が安心して暮らせる福祉基盤の充実を図ります。

第四は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。

コロナ禍がもたらした社会変革の兆しを的確に捉え、「2030年の展望」を具体化する取組を更に充実させていきます。

2050年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討も加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度もの危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代をともに築き上げるため、挑戦していきましょう。

令和3年度の主要施策

- ※今後の予算査定により変更する場合があります。
- ※新型コロナにかかる経済・雇用確保対策等については、国交付金の措置状況等を踏まえ別途検討。
- ※デジタル関連施策には*を記載。

I 安全安心な地域づくり

1 新型コロナウイルス感染症への適切な対応

- ① 検査体制の充実（PCR等検査件数の確保、医療機関・福祉施設におけるクラスター化防止に向けた検査の徹底、健康福祉事務所による疫学調査）
- ② 地域医療体制の確保（加古川医療センター（臨時重症専用病棟を含む）を中心としたフェーズに応じた医療・宿泊療養体制の確保、円滑な入院等調整の実施）
- ③ 県民への感染防止対策の要請（外出自粛等の要請、検温・マスク・手洗い等の徹底、ウイルスを家庭・職場・医療機関・福祉施設に持ち込まない、飲食店での注意）

2 防災・減災対策の推進

- ① 県土の強靱化（県土強靱化5箇年計画に基づく事前防災対策、津波防災インフラ整備計画等各種計画の推進、武庫川水系河川整備計画の前倒し実施）
- *② 社会基盤DXの推進（i-Construction（建設現場でのICT活用等）の本格推進、防災情報提供の拡充、維持管理の高度化（3次元データによる河川堆積土砂の管理））
- ③ 災害に強い森づくりの推進（県民緑税を活用した森林の保全・再生）
- ④ コロナ禍に対応した避難対策の推進（避難所・福祉避難所の追加確保、要支援者の避難支援、マイ避難カードの作成促進）
- ⑤ 防災人材の育成（広域防災センター宿泊施設を活用した防災士等研修プログラムの開発）

3 子育て環境の充実

- ① 質の高い幼児教育・保育サービスの提供（保育所整備や弾力的運用による保育定員の拡大、保育士の処遇改善・研修等による保育の質の確保）
- ② こども家庭センターの体制強化（尼崎・加東各センターの新設、一時保護所の増設検討）
- ③ 子どもを望む方への支援（不妊治療検査費助成、特別養子縁組の推進）

4 医療・介護体制の充実

- ① 医療確保対策の推進（医師の確保及び偏在解消、周産期医療体制の充実強化）
- *② 遠隔医療の推進（オンラインを活用したへき地等医療支援、県立病院遠隔画像診断ネットワークの構築）
- ③ 健康づくりの推進（子宮頸がん検診の広域化、国保データベースの活用）
- ④ 在宅医療・介護の強化（定期巡回・随時対応サービス事業所の設置促進、看護小規模多機能居宅介護の整備促進、ハラスメント防止に向けた2人体制による訪問看護・介護の推進）
- ⑤ 高齢者支援の充実（フレイル対策等による介護予防の推進、軽度認知障害（MCI）の支援体制強化）
- *⑥ 福祉・看護人材の確保（福祉人材センターの機能強化、ICT機器・ロボットの導入と活用促進）
- ⑦ ユニバーサル社会づくりの推進（最先端歩行再建センター（仮称）の設立）
- ⑧ 自殺対策の強化（こころの悩み相談体制の強化）

II 地域の元気づくり

* 1 デジタル化の本格的推進

- ① 情報通信基盤の強化（兵庫情報ハイウェイの増強、兵庫情報スーパーハイウェイ（東京アクセスポイント）の運用）
- ② テレワークの推進（テレワーク兵庫の活用推進）
- ③ スマート県庁の推進（ペーパーレス・ストックレスの推進、様式標準化など業務プロセス見直しによる行政手続オンライン化の推進、データ利活用による政策の高度化、庁内推進体制の構築）
- ④ マイナンバーカードの取得・利活用促進（保険証・図書館カードとしての利活用）

2 地域創生の加速

- ① 地域創生戦略の推進（地域の元気づくり・社会増対策・自然増対策の推進）
- ② 集客・交流エリアとしての大阪湾ベイエリアの再開発等8つの地域プロジェクトの推進
- ③ 兵庫の歴史と魅力の発信（兵庫津ミュージアム（仮称）のプレオープン）
- ④ 地方回帰志向を捉えた兵庫への就業・移住促進（転職希望者への短期滞在支援付プレ雇用の斡旋、IT事業所の誘致促進）
- ⑤ 交流・関係人口のネットワーク強化（e-県民制度の登録促進、二地域居住の推進）

3 産業競争力の強化

- ① スタートアップ拠点の形成（起業プラザ、UNOPS・GICの連携による起業家の育成、新ファンド・貸付によるスタートアップ支援）
- ② 次世代産業の育成（COEプログラムの拡充）
- * ③ 中小企業の事業展開支援（スマートものづくりセンターの充実等によるものづくりDXの推進、サプライチェーンの多元化等海外展開支援）
- * ④ 企業立地の促進（生産拠点の県内回帰、サプライチェーンの強化・再構築の支援、兵庫情報ハイウェイ及び兵庫情報スーパーハイウェイを活用した誘致活動）
- * ⑤ 金融・IT関連等外国・外資系企業の誘致

4 農林水産業の基幹産業化・スマート農業の推進

- * ① スマート農林水産業の推進（ドローン・自動運転等の機器導入促進、生産現場での指導強化）
- * ② 農業経営体の経営力強化・経営承継（法人経営のスマート化、担い手の経営承継促進、遊休農地の利活用促進）
- ③ 就農者の確保・定着促進（体験機会の充実、受入体制の充実、農業施設貸与事業の就農研修施設等への拡充）
- ④ 「御食国ひょうご」ブランドの構築（「御食国ひょうご」サイトの販売力強化、SAKE selection（ブリュッセル国際コンクール日本酒部門）の兵庫県開催）
- ⑤ 県産木材の利用拡大と森林管理の推進（家具等新たな需要開拓、新ひょうごの森づくり第3期対策の前倒し実施）
- ⑥ 豊かな海の再生と水産業の振興（適切な栄養塩管理、稚ナマコ・稚エビの量産化、全国豊かな海づくり大会の着実な準備）

5 環境優先社会の推進

- ① 2050年CO2排出量実質ゼロに向けた地球温暖化対策（再生可能エネルギーの導入・利用拡大、新・兵庫県地球温暖化対策推進計画に基づく温室効果ガス排出削減の強化）
- ② 水素の利活用拡大（水素モビリティの導入促進、水素ステーションの設置促進）
- ③ 生態系危機への総合対策（野生鳥獣被害・捕獲対策の強化、県立総合射撃場（仮称）の整備促進）

- ④ 廃棄物の適切な循環の促進（プラスチックごみ削減のための代替素材への転換促進、フードドライブ運動の推進）

6 地域と世界で活躍できる人材の養成

- * ① 県立学校における魅力づくりの推進（県立高等学校教育改革第三次実施計画の策定、ICTを活用した教育の推進）
- ② 特別支援学校生徒のキャリア教育・就労支援（技能検定のパソコン部門新設）
- ③ 県立大学の大学改革の推進（大学院3研究科の改編、医工学連携の推進、姫路工学キャンパスの整備）
- ④ 芸術文化観光専門職大学の開学による専門職業人の育成
- * ⑤ 職業訓練の充実（高度情報人材コースの拡充、新技能習得訓練の実施）
- * ⑥ 生涯学習の推進（オンラインによる高齢者大学の講座内容の充実、仕事等と両立しやすい多様な学びの提供）

7 全員活躍社会の実現

- ① 多様な主体の就労参画の推進（多様なニーズに応じた就労マッチング支援、シニア・障害者の在宅就労促進）
- ② 女性活躍の推進（民間企業における女性管理職比率の向上推進、若年女性向け情報発信による移住・定着促進、ものづくり分野への女性就業の促進）
- * ③ 障害者の社会参加の促進（ICTを活用した事業所の生産活動支援、農福連携による就労支援）

Ⅲ 交流・環流の促進

1 魅力ある都市・地域の整備

- ① 都市再生の促進（県庁舎等の再整備、三宮駅周辺の再整備支援等神戸市との連携による都心部の魅力向上）
- ② 商店街の活性化（まちなか再生の推進、宅配・移動販売の支援、買い物サポート）
- ③ 空き家等の活用促進（移住者向け賃貸住宅の整備促進、古民家の再生支援、市街化調整区域の開発許可の規制緩和）
- ④ オールドニュータウンの再生（リノベーションまちづくりの推進、先導的な団地再生の取組支援）
- ⑤ 都市公園の魅力向上（都市公園のリノベーション）

2 スポーツ、芸術文化の振興

- * ① 芸術文化の振興（公演等のマッチング、動画配信支援、リモートレッスンの推進、アウトリーチ活動の充実）
- ② スポーツの振興（東京オリ・パラ聖火イベント等の実施、WMG2021 関西の開催準備、地域スポーツの活性化）
- ③ 障害者スポーツ・芸術文化活動等の推進（パラスポーツの環境整備、障害者アートの発信強化）

3 観光・ツーリズムの振興

- ① ひょうご観光本部を中核としたニューツーリズムの創出（日本遺産、瀬戸内クルーズ等に重点化した周遊・体験型コンテンツの開発）
- ② インバウンド再開を見据えた誘客プロモーション（外国人県民による兵庫の魅力発信、体験型ツーリズムの促進、翻訳通訳機の導入など受入環境の整備）
- ③ 中核観光人材の確保（次世代の観光産業の担い手、地域の魅力に精通した観光ガイドの養成）
- ④ 淡路花博20周年記念「花みどりフェア」の開催

4 国際交流の深化

- ① 多文化共生社会の推進（外国人コミュニティ・支援団体が有する知見の共有の場の設置）
- ② 在住外国人の生活支援（災害時等の多言語情報発信機能の充実）

5 交流基盤の整備

- ① 基幹道路ネットワークの充実強化
大阪湾岸道路西伸部(用地取得・工事)、名神湾岸連絡線(R3 事業着手(要望中))、播磨臨海地域道路(都市計画手続)、神戸西バイパス(用地取得・工事)、中国横断自動車道姫路鳥取線(R3 開通予定)、東播磨道(工事)、東播丹波連絡道路(西脇北 BP: 工事、西脇市黒田庄以北: 事業化に向けた調査)、北近畿豊岡自動車道(豊岡道路: 工事、豊岡道路(Ⅱ期): 調査設計)、山陰近畿自動車道(浜坂道路Ⅱ期: 工事、竹野道路: R3 事業着手、佐津～竹野・豊岡北～府県境: 事業化に向けた調査)
- ② 関西3空港の有効活用・利便性向上（神戸空港の国際化に向けた検討）
- ③ コウノトリ但馬空港の更なる利活用（空港機能の強化検討、但馬空港を拠点とするローカル to ローカルの需要創出）
- ④ 海上交通の強化（港湾の機能強化、観光航路の開拓）
- ⑤ 地域公共交通の維持・活性化（デマンド型交通の導入、コミュニティバスの広域運行促進）

IV 新たな兵庫づくり

1 「兵庫 2030 年の展望」リーディングプロジェクトの推進

- ① ポストコロナ社会を先導すべく改定した16のリーディングプロジェクトの推進
起業立県実現、先端産業創造、全員活躍、価値創造人材育成、水素社会先導、御食国ひょうご、豊かな森・海再生、スポーツ・フォー・ライフ推進、つながる芸術文化、在宅強化・健康寿命延伸、防災・減災加速、まちなか安心、体験ツーリズム、外国人安心、次世代移動・買い物、空間再生

2 新たなビジョンの策定

- ① 「21世紀兵庫長期ビジョン」に替わる新ビジョンの策定

3 適切な行財政運営の推進

- ① 行財政の運営に関する条例及び兵庫県行財政運営方針に基づく適切な行財政運営の推進

* ② 働き方改革の推進（業務のデジタル化）

4 情報発信の強化

* ① 広報戦略の推進（多様な広報媒体の効果的な活用、兵庫五国連邦プロジェクトの新展開、広報力の充実強化）

5 地方分権の推進・関西の活性化

- ① 地方分権に関する提案募集への対応・特区制度の積極的活用
- ② 県から市町への権限移譲の推進
- * ③ 地域課題解決に向けた市町連携の推進（AI・RPA 共同導入、公共施設共同運用）
- ④ 関西広域連合の活動の展開（2025年大阪・関西万博の開催準備）
- ⑤ 2025年大阪・関西万博サテライト会場設置に向けた検討

令和3年 トピックス

令和3年 トピックス

■大会・イベント

1	ひょうご安全の日のつどいの開催	13
2	島田叡生誕120年記念事業の開催	14
3	ブリュッセル国際コンクール(CMB)SAKE selectionの兵庫開催	15
4	淡路花博20周年記念 花みどりフェアの開催	16
5	第9回科学の甲子園ジュニア全国大会の開催	17
6	第10回神戸マラソンの開催	18
7	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の円滑な大会実施に向けた開催準備の促進	19
8	東京2020オリンピック・パラリンピック応援事業の展開	20
9	2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組	21

■公共ホール、美術館、博物館の催し

1	県立芸術文化センター ～プロデュースオペラ2021喜歌劇「メリー・ウィドウ」など～	25
2	県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター・県立ピッコロ劇団）	26
3	兵庫陶芸美術館 ～「No Man's Land 陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先」展、丹波焼の里の魅力発信の取組など～	27
4	横尾忠則現代美術館 ～「Curators in Panic～横尾忠則展 学芸員危機一髪」など～	28
5	県立美術館 ～特別展「コシノヒロコ展」など～	29
6	県立歴史博物館 ～特別企画展「絵そらごとの楽しみー江戸時代の絵画からー」など～	30
7	県立考古博物館 ～特別展「弥生時代って知ってる？」など～	31
8	県立考古博物館加西分館「古代鏡展示館」 ～リニューアル記念展「青銅の時代と唐王朝の華（仮称）」など～	32

■オープン施設

1	芸術文化観光専門職大学の開学	35
2	県立兵庫津ミュージアム（仮称）のプレオープン〔初代県庁館（仮称）のオープン〕	36
3	こどもの館のリニューアルオープン	37
4	人と防災未来センター東館のリニューアルオープン	38
5	北播磨・阪神地域へのこども家庭センターの新設	39
6	ひょうご環境体験館のリニューアルオープン	40
7	播磨科学公園都市 バスターミナル・交流拠点の供用開始	41
8	その他主な供用開始施設	42

■地域創生に向けた各地域の取組

1	神戸の新たな魅力と賑わいづくり	〔神戸県民センター〕	47
2	住んでみたい、住んで良かった阪神南地域の実現	〔阪神南県民センター〕	48
3	アートな暮らしが賑わう活力あるまちづくりをめざして	〔阪神北県民局〕	49
4	水辺・ものづくりのまちで生きる	〔東播磨県民局〕	50
5	「農」と「食」・魅力体験ツーリズム等による元気な北播磨づくり	〔北播磨県民局〕	51
6	人と地域がつながる“元気”な中播磨の創生	〔中播磨県民センター〕	52
7	光と水と緑でつなぐ 元気・西播磨	〔西播磨県民局〕	53
8	「あしたのふるさと但馬」を目指した地域創生の推進	〔但馬県民局〕	54
9	進めよう 丹波の森づくり	〔丹波県民局〕	55
10	世界が憧れる魅力あふれる淡路島の実現	〔淡路県民局〕	56

■ 大会・イベント

ひょうご安全の日のつどいの開催

阪神・淡路大震災25年事業を展開した昨年度に引き続き、ポスト震災25年の最初の年となる本年においても、震災の経験と教訓を地域や世代を越えて継承・発信していく必要がある。

このため、令和3年1月17日に、災害文化を社会に定着させ安全で安心な社会づくりを進めるために、「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』」をテーマとして、「ひょうご安全の日のつどい」を実施する。

なお、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、基本的な感染防止対策はもとより、行事参加者数の見直しや各種ガイドラインに基づく対応など、対策を徹底した上で実施する。

1 事業概要

(1) ひょうご安全の日のつどい

① **実施主体** ひょうご安全の日推進県民会議（131 団体・個人）

② **開催日** 令和3年1月17日（日）

ア 1.17のつどい（追悼行事） [11:50～12:30]

イ 1.17ひょうごメモリアルウォーク2021 [8:00～14:30]

ウ 交流ひろば・交流ステージ [10:30～15:00]

エ 防災訓練 [13:00～15:00]

(2) **地域のつどい** 1月17日を中心に各県民局・県民センターで実施

(3) 実施方針

①新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

参加者の検温やマスクの着用、手指消毒等の基本的な対策はもとより、徹底的な感染防止対策を講じることにより、安全裡に事業を実施する。

②震災を経験していない若者への経験・教訓の継承

震災25年事業においてもその重要性が再確認された、「震災を経験していない若者への経験・教訓の継承」に重点を置いた内容で実施する。



【1.17のつどい（H31.1.17）】

2 主な行事の概要

(1) 1.17のつどい（追悼行事）

阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々へ哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を国内外や次世代に発信する。

場 所：HAT神戸（人と防災未来センター慰霊のモニュメント前）

・行事参加者数の見直し（参加できない県民に向け追悼行事の様態をウェブでリアルタイム配信）

・一般献花の時間を拡大し、一般献花者の密集を防止（5:46～17:00 [追悼行事中を除く]）等

(2) 1.17ひょうごメモリアルウォーク2021

阪神・淡路大震災から復興した街並みや震災モニュメントを巡り、風化しがちな防災意識を高めるとともに、緊急時の避難路・救援路として整備された山手幹線等を歩くメモリアルウォークを実施する。

コース：東西6コース（15km・10km・5km・2km）

・午前、午後の分散実施や段階的スタートにより参加者を分散

・参加定員の設定や隊列に帯同する整理員の増員によりウォーキング中の密集の発生を防止 等



【1.17ひょうごメモリアルウォーク（R2.1.17）】

(3) 交流ひろば・交流ステージ

場 所：HAT神戸なぎさ公園

内 容：若者グループの防災活動紹介、県内学校の防災教育の実践紹介、防災展示、若者グループによるステージ 等

・「展示会」、「音楽コンサート」のガイドラインに基づく対策を徹底 等

島田 叡生誕120年記念事業の開催

令和3年12月に生誕120年を迎える兵庫県出身の島田 叡元沖縄県知事の生い立ちや功績を次世代に語り継ぐとともに、令和4年度が兵庫・沖縄友愛提携50周年であることも踏まえ、改めて沖縄友愛の絆の大切さ、平和の尊さを次世代に伝える。

1 事業概要 (案)

- (1) 日 時 令和3年12月頃 (予定)
- (2) 場 所 兵庫県公館
- (3) 主 催 兵庫県、(公財)兵庫県青少年本部
- (4) 共 催 (株)神戸新聞社、武陽会 (県立兵庫高等学校同窓会)、
沖縄県人会兵庫県本部
- (5) 内 容 ・友愛さわやかステージ
・基調講演
・パネルディスカッション
・兵庫・沖縄友愛提携50周年「友愛宣言」



【島田 叡氏】

2 島田叡氏の功績

兵庫県出身の島田叡氏 (県立第二神戸中学校 (現県立兵庫高等学校) 卒) は、昭和20 (1945) 年、最後の官選知事として赴任した沖縄において、戦禍の中で献身的に県政を統率し、多くの県民の人命保護に尽力した。

島田氏の最期の地とされる摩文仁の丘には、亡くなられた沖縄県職員とともに島田氏を祀った「島守の塔」が建立され、今もその功績が称えられている。

3 兵庫・沖縄友愛の歩み

明治中期、沖縄～本土航路の開設以来、神戸港は沖縄県民の受け入れに重要な役割を果たしてきた。太平洋戦争の沖縄戦では、多くの兵庫出身の若者が戦陣に散り、兵庫出身の島田叡氏は、沖縄県知事として県民の生命を守るため一身を賭して尽力し、今も沖縄県民から慕われている。

このようなことを背景に、昭和47 (1972) 年の沖縄本土復帰をきっかけに、同年11月、両県の友愛提携が結ばれ、「沖縄・兵庫友愛スポーツセンター」建設のための募金活動をはじめ、青年活動、文化、スポーツ・産業等の多彩な交流を通じて両県の友愛の絆を深めている。なかでも両県青年による夏の沖縄、冬の兵庫における友愛キャンプは、48年にわたり脈々と続けられ、4,600名を超える両県青年が友愛の絆を深めている。

昭和47年11月 3日	友愛県提携に関する協定書締結
昭和48年 8月16日～22日	第1回兵庫・沖縄友愛キャンプ (以降夏は沖縄、冬は兵庫で毎年実施)
昭和50年 6月18日	沖縄・兵庫友愛スポーツセンター開館
平成 4年 5月～8月	友愛協定締結20周年記念事業
平成14年 8月～平成15年 2月	友愛協定締結30周年記念事業
平成20年12月～平成21年 2月	友愛スポーツセンター解体・撤去
平成21年 3月26日	友愛スポーツセンター記念碑除幕式
平成24年 8月～10月	友愛協定締結40周年記念事業
平成27年 6月26日	島田叡氏顕彰碑建立記念式典
平成 2年10月 3日	第48回夏期キャンプ (オンライン)

(企画県民部女性青少年局青少年課 森本 由貴子 内線 2748)

ブリュッセル国際コンクール（CMB）日本酒部門 SAKE Selectionの兵庫開催

昨年10月に開催予定であった「SAKE selection 2020」は、世界的なコロナウイルス感染拡大の影響により、外国人審査員の来日可否が不透明な状況であることから開催を延期し、本年に開催することとなった。

世界各国のジャーナリスト、ソムリエ、バイヤーなどが集う SAKE Selection を誘致し、酒・酒米のセミナーなど関連行事を一体的に開催することで、国内外における日本酒の新たな需要を創出するとともに、その原料となる酒米の生産振興を図る。

併せて、ひょうごの食・農や観光資源などを世界に発信し、輸出や交流の拡大による産業振興を通じた地域の活性化を図る。

1 SAKE Selection の開催計画

(1) 出品エントリー

- ・エントリー期間 調整中
- ・出品点数 1,000～1,400 銘柄程度

(2) コンクール等行事の内容

- ・時期 令和3年10月18日（月）～22日（金）
- ・審査員 約60名（外国人48名、日本人12名）
- ・会場 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
- ・審査日程

日程(予定)	SAKE Selection 行事等
1日目	午後：審査員セミナー 夕方：歓迎レセプション（相楽園）
2～4日目	午前：審査会 午後：酒米産地等体験・見学会
5日目	関連行事 (SAKE Selection 商談会)

(3) アワードセレモニー(授賞式)

- ・時期 令和3年11月20日（土）
- ・場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

(4) SAKE Selection セミナー・交流会

- ・時期 令和3年11月20日（土）（セミナー）
令和3年11月21日（日）（交流会）
- ・場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル等

(5) トロフィー受賞セレモニー

- ・令和4年2月にベルギーで開催（予定）

(6) プロモーション

- ・審査結果や審査開催地の情報を海外で開催されるイベントやHP、SNS等を通じて世界に発信

【参考1：CMB (Concours Mondial de Bruxelles) とは】

2020年で27年目を迎える世界最大級のワインコンクールの一つ。55か国から1万本以上の出品があり、40ヶ国、350名の審査員により公正・一貫性のある審査を実施。（主催はベルギーのブリュッセルに拠点を置くVinoPres(ビノプレス)社〔雑誌社〕）

【参考2：SAKE Selection とは】

CMBの日本酒部門として2018年にSAKE Selectionを新設し、第1回は三重県で開催。日本窓口の百五総合研究所からの要請を受けて第2回を兵庫県で開催。



S A K E
— selection —
EXPERIENCE THE EXCELLENCE
by Concours Mondial

【訪問先候補】

兵庫の魅力、日本酒・酒米の魅力を発信できる内容を検討

<1日目>神戸・阪神地域



【宮水の井戸】

<2日目>中播磨地域



【姫路城（世界遺産）】

<3日目>北播磨地域



【山田錦の生産風景】

淡路花博20周年記念 花みどりフェアの開催

国際園芸・造園博「ジャパンプローラ」から20周年を記念して開催する「花みどりフェア」は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年秋の開催を延期し、本年の春期と秋期に開催する。

“みなとつながる「花 緑 食の島」淡路”をテーマに多彩な展示・行催事を通じて自然・食・歴史など豊かな地域資源に恵まれた淡路島の魅力を発信する。

1 会 期

春期 令和3年3月20日(土)～5月30日(日) 72日間
秋期 令和3年9月18日(土)～10月31日(日) 44日間



2 祭典会場

(1) メイン会場

淡路島国営明石海峡公園・淡路夢舞台
洲本市中心市街地エリア
淡路ファームパーク・イングランドの丘

(2) サテライト会場

淡路島内観光施設等を幅広くサテライト会場として位置づけ、祭典に合わせて各施設からの提案の事業等を実施

3 展示・行催事例

(1) 春期

ア 春のカーニバル

花緑ファンや愛好家をはじめ来場者へ驚きと感動を与えるチューリップなどの巨大な花園により、出迎える大修景花壇を展開

- ・開催場所 淡路島国営明石海峡公園
- ・開催期日 令和3年3月20日～5月30日



【淡路島国営明石海峡公園】

イ 島スイーツガーデン

“淡路島”の自然が育む新鮮な素材(淡路島産フルーツ・牛乳・たまご等)をふんだんに使用した「島スイーツ」を一堂に集め、淡路島ならではのカフェを限定オープン

- ・開催場所 淡路島国営明石海峡公園(ビジター棟)
- ・開催期日 令和3年4月10日、11日

(2) 秋期

ア 夜の魅力づくり

LEDフラワーやデジタル掛け軸、ナイトマーケットなど、ナイト観光として楽しむことができるコンテンツを展開し、「癒しの島」淡路島の夜の魅力づくりを創出

- ・開催場所 洲本市民広場
- ・開催期日 令和3年9月18日～10月31日

※デジタル掛け軸、ナイトマーケットは期間限定



【デジタル掛け軸】

イ 淡路島の神話や人形浄瑠璃の歴史をテーマとした特別公演

淡路島ゆかりのアーティスト清川あさみ氏による特別公演を開催

- ・開催場所 淡路人形座、淡路ファームパーク・イングランドの丘

第9回科学の甲子園ジュニア全国大会の開催

科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として、全国の中学生が都道府県を代表して、科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア」が平成25年度から実施されている。

令和3年度（第9回）、令和4年度（第10回）の2年間、科学の甲子園ジュニア全国大会を兵庫県で開催する。

1 趣旨

理科、数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供する。

2 開催概要

- (1) **主催** 科学技術振興機構（JST）
- (2) **共催** 兵庫県教育委員会
- (3) **後援** 文部科学省
(予定) 全日本中学校長会
全国中学校理科教育研究会
公益社団法人 日本理科教育振興協会
- (4) **日程** 令和3年12月3日（金）～5日（日）
※令和4年度も12月上旬を予定
- (5) **会場** 姫路市文化コンベンションセンター
- (6) **参加者** 各都道府県代表47チーム380名程度予定（内訳：中学生282名（6名／チーム）、引率94名）
大会実施関係者100名程度、一般来場者500名程度
- (7) **開催内容** 開会式、筆記競技・実技競技、表彰式 など



【姫路市文化コンベンションセンター】

【参考】第7回科学の甲子園ジュニア全国大会について ※第8回は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

- (1) **日時** 令和元年12月6日（金）～8日（日）
- (2) **会場** つくば国際会議場（つくばカピオ）
- (3) **成績** 優勝：愛知県チーム
第2位：千葉県チーム
第3位：香川県チーム
※兵庫県・・・10位 [過去最高順位・・・2位（平成25年度）]



【兵庫県代表チームが紹介される様子】



【大会を終えての記念撮影】

（兵庫県教育委員会事務局義務教育課 早瀬 幸二 内線 5719）

第10回神戸マラソンの開催

令和2年11月に開催予定であった第10回神戸マラソンは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催を見送り、令和3年11月に延期することとなった。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、安全・安心な大会運営による開催を目指す。

1 大会概要

- (1) **大会名称** 第10回神戸マラソン (KOBE MARATHON 2021)
- (2) **日 時** 令和3年11月21日(日) (予定)
※ ランナー受付及びEXPO: 大会前日・前々日
- (3) **内 容** 令和3年3月に詳細を発表 (予定)

【参考】神戸マラソン ランナー応援プロジェクト「フレンドシップリレーマラソン」について

※第10回神戸マラソン延期によるプレイベントの一つとして実施

- (1) **日 時** 令和2年11月14日(土)
- (2) **会 場** 兵庫県立三木総合防災公園 陸上競技場
- (3) **内 容** プロランニングコーチの金哲彦さんと兵庫ゆかりのトップアスリートである小林祐梨子さん(北京五輪出場)、中村友梨香さん(北京五輪出場)、田中希実さん(1,500m、3,000m日本記録保持者)によるランニング指導及び交流会とリレーマラソンを実施
- (4) **主 催** 兵庫県・兵庫県教育委員会
- (5) **開催結果** ランナー (97組752人)



(教育委員会事務局スポーツ振興課 主幹(神戸マラソン担当) 岩本 純佳 078-325-1430)

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の円滑な大会実施に向けた開催準備の促進

世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズは、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年の開催を延期し、令和4年にアジアで初めて関西で開催される。

競技に参加してスポーツを楽しむだけでなく、家族や知人を連れ立って大会前後の期間も開催地に滞在し、周辺の観光地巡りなどを楽しむ方が多いことから、開催地域へ多くの経済効果をもたらすだけでなく、参加者を通じて地域の文化や観光資源など関西・兵庫の魅力を国内外に発信する絶好の機会となる。

本大会を成功させるため、開催機運醸成及び参加者確保のためのPR活動を展開するとともに、具体的な開催準備を促進する。

1 大会概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 大会名称 | ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 |
| (2) 会期 | 令和4年（調整中） |
| (3) 目標参加人数 | 選手5万人（国内3万人、海外2万人：150カ国・地域以上） |
| (4) 開催場所 | 関西一円（2府7県4政令市） |
| (5) 大会テーマ | スポーツ・フォー・ライフの開花（The Blooming of Sports for life） |
| (6) 主催 | （公財）ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会 |
| (7) 共催 | （公財）日本スポーツ協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会 |
| (8) 後援 | スポーツ庁 |

2 関連事業

(1) 節目イベントの開催

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の県内全域の知名度向上と機運醸成を目的に、大会開催1年前などの節目にイベントを実施する。

① 神戸まつりへの出展

神戸市との共催による「神戸まつり」パレード参加やPRブースの出展

② 開催市町実行委員会によるイベント

17 開催市町における周知と機運醸成を図るため、開催市町実行委員会による住民を対象としたPRイベントや開催競技の体験会等の開催

(2) 兵庫県開催競技リハーサル大会の開催

大会のPRと国際大会運営のノウハウ獲得や新型コロナウイルス対策の検証を行うために、実際の競技会場において海外選手が参加するリハーサル大会を開催する。

(3) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターにおいて、ボランティアの募集活動や配置計画を作成するとともに、eラーニングシステムを構築し、ボランティア申込者への共通研修や業務別研修を実施する。また、研修に必要なマニュアルを作成する。

(4) クレー射撃会場の設営

- ・岡山市内で開催するクレー射撃会場の設営及び競技会場へのシャトルバスの運行計画の作成
- ・円滑な競技運営や地域ならではのおもてなし、観光情報の発信について警察や消防、地域自治体と連携

(5) 参加者確保の取組

県民への大会の周知と参加者確保のため、「関西マスターズスポーツフェスティバル」「ひょうご女性スポーツの会」「スポーツクラブ 21 ひょうご」等の事業や「県連合自治会」「県連合婦人会」「県老人クラブ連合会」等の地域団体との連携を強化する。

ワールドマスターズゲームズ2021関西



（教育委員会事務局スポーツ振興課 主幹 赤尾 崇宏）

東京2020オリンピック・パラリンピック応援事業の展開

新型コロナウイルスの影響で1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックを応援することで、県のスポーツ振興や地域の活性化などを目的として事前合宿及び聖火リレー出発式を実施する。

1 事業内容

(1) 事前合宿

フランス陸上競技、フランス柔道及び欧州3カ国の水泳チームを受け入れ、各国選手団が東京オリンピックで実力が発揮できるように練習環境等を整える。また、三木市、姫路市、及び尼崎市と協力して、コロナ対策を施した上で交流事業を実施する。

＜兵庫県内の事前合宿決定状況＞

	自治体名	対象国	使用施設	競技種目
県立施設	姫路市・兵庫県	フランス	県立武道館	柔道（オリ）
	三木市・兵庫県	フランス	県立三木総合防災公園陸上競技場	陸上（オリ）
				陸上（パラ）
	尼崎市・兵庫県	ウクライナ	県立尼崎スポーツの森	水泳（オリ）
ギリシャ				
ベラルーシ				
その他	神戸市	オーストラリア	王子スポーツセンター・県立海洋体育館・ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター等	パラ 12 種目
		ネパール	しあわせの村	水泳（パラ）
		ニュージーランド	ポートアイランドスポーツセンター 王子スポーツセンター	水泳（オリ）
		フランス	グリーンアリーナ神戸	体操（オリ）
	西脇市	オーストラリア	西脇市総合市民センター	卓球（オリ）
	豊岡市	ドイツ	豊岡市立城崎ボートセンター	ボート（オリ）
		スイス		
	加古川市	ブラジル	加古川市立総合体育館	シッティングバレー（パラ）
		ツバル	加古川市立運動公園陸上競技場 加古川市立総合体育館	陸上（オリ）
	三木市	ネパール	三木ホースランドパーク	テコンドー（パラ）

(2) 聖火リレー

地域を盛り上げ、誇りあるレガシーを残すオリンピック聖火リレーの着実かつ円滑な運営を図るため、東京 2020 組織委員会及び県内の実施 14 市と協力して万全の準備を進める。

5月23日（日）			5月24日（月）		
市名	出発地	到着地	市名	出発地	到着地
豊岡市	六方防災ステーション	市役所市民広場	神戸市	兵庫県庁	BE KOBE モニュメント前
朝来市	竹田城跡	J R竹田駅	明石市	天文科学館	大蔵海岸公園
宍粟市	音水湖カヌー競技場	引原ダム	南あわじ市	西淡中学校	慶野松原ビーチバレーコート
加東市	兵庫県社総合庁舎	加東市役所	西宮市	甲子園球場周辺	浜甲子園運動公園
小野市	小野市役所（新庁舎）	新陸上競技場	尼崎市	記念公園陸上競技場	尼崎城址公園
加古川市	加古川総合庁舎	鶴林寺	三田市	郷の音ホール	三田本町駅周辺
姫路市	大手前公園	姫路城三の丸広場	丹波篠山市	篠山中学校	篠山城跡三の丸広場

（教育委員会事務局スポーツ振興課 班長 金田 基裕 内線 5779）

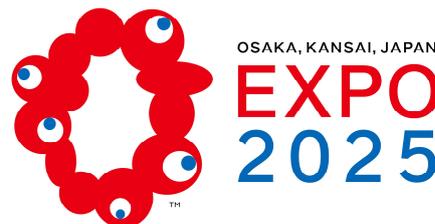
2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組

2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）の登録申請が、令和2年12月1日に博覧会国際事務局（BIE）総会で承認を受けた。世界が新型コロナウイルスのパンデミックを経験した直後に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博が開催されることは大きな意義がある。

本県は、医療産業都市をはじめとした先端技術と、世界遺産「姫路城」を中心とした厚みある歴史や文化とあわせて、多様な地域の魅力を持っている。大阪・関西万博は、地域の文化や観光資源など兵庫の魅力を国内外に発信する絶好の機会であることから、メイン会場での情報発信や県内各地でサテライト設置に向けた検討を開始する。

1 2025年日本国際博覧会 大阪・関西万博

- (1) 会 期 2025（令和7）年4月13日（日）
～10月13日（月） 184日間
- (2) テー マ いのち輝く未来社会のデザイン
- (3) コンセプト 未来社会の実験場（People's Living Lab）
- (4) 会 場 夢洲〔ゆめしま〕（大阪市此花区）155ha
- (5) 想定入場者数 約2,800万人
- (6) 登録承認 令和2年12月1日（火）



（参考）ドバイ国際博覧会

- (1) 開催期間 2021（令和3）年10月1日（金）～2022（令和4）年3月31日（木）
- (2) ジャパンデー 2021（令和3）年12月11日（土）

（日本の魅力や地域の取り組み等の発信を目的とし、様々な企業・団体等と共創しながら、2025年大阪・関西万博にもつながるようなイベント等を日本として開催予定）

2 兵庫県での取組

大阪・関西万博は、大阪だけでなく関西全体の発展のためのイベントである。登録申請に位置付けられている「会場外の自治体等が主体的に展開する万博関連事業」として各地でイベントを開催するなど、本会場と連携することにより関西全体で盛り上げる必要がある。

(1) メイン会場における兵庫の魅力発信の検討開始

関西広域連合構成府県をはじめ関係団体と連携し、メイン会場での兵庫・関西の魅力発信方法について検討を始める。



(2) 県内サテライト会場設置の検討開始

大阪・関西万博の活力を西に波及させるため、市町と連携し、県内各地にサテライト会場設置についての検討を始める。万博会場とサテライト会場を「バーチャル&リアル」で結び、兵庫の魅力を体感していただくことにより万博開催で生み出される活力を兵庫県内に広げる。併せて、地域の魅力を世界にアピールするため、県内各地で万博開催に向けた機運醸成を図る。

【サテライト会場（案）】

候補地	内容
神戸市 （ポートアイランド）	テーマ：医療産業記念館 内 容：万博のテーマと親和性が高い、本県の次世代医療技術や最先端技術を紹介。
淡路市 （淡路夢舞台等）	テーマ：国生み神話館 内 容：海外観光客向けに日本の神話を知ってもらうため劇場型施設を整備。淡路島より西、四国地方からの国内客の会場への送り込みと瀬戸内海クルーズとして明石海峡大橋の下を通るなどにより、インバウンド客も取込むルートを設定。
姫路市 （姫路城周辺）	テーマ：姫路伝統文化館 内 容：歴史博物館のリニューアルに合わせて、播磨の伝統文化と世界遺産姫路城をアピール。世界遺産姫路城周辺と書写山圓教寺と会場を結ぶ周遊バスを運行。姫路港と生野銀山・明延鉦山・神子畑選鉦場を結ぶ日本遺産「銀の馬車道・鉦石の道」などをVRで紹介。

（企画県民部地域創生局（地域創生担当） 企画官 戸敷 幸）

■ 公共ホール、美術館、博物館の催し

県立芸術文化センター ～プロデュースオペラ2021喜歌劇「メリー・ウィドウ」など～

芸術文化センターは、阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして、多くの方々の「心の広場」となることを目指して活動をしてきた。今後もさらなる県民の期待に応えていくため、①多彩な舞台芸術の創造・発信、②芸術性豊かなものから親近感に富むものまで幅広いニーズに応える上演、③舞台芸術の普及・県民の創造活動の支援の基本コンセプトをもとに事業を展開する。

1 芸術文化センター事業

(1) 自主企画制作（佐渡裕芸術監督プロデュース等）

①プロデュースオペラ 2021 喜歌劇「メリー・ウィドウ」（7月16日～7月25日）

- ・2008年度に同作品の上演で好評を得たクリエイティブ・チームが再結集し、さらにグレードアップした華やかな舞台を創造する。
- ・「ハイライトコンサート～ええとこどり！」を芸術センター、三田、稲美、洲本、小野、丹波篠山で開催

②コンサート

- ・ジルヴェスター・コンサート（12月31日）

③プロデュース演劇・ダンス・古典芸能

- ・「キオスク」（1月22日～24日）
- ・宮城道雄の世界 和と洋が響きあう～「春の海」（3月7日）

④日本オペラプロジェクト

- ・歌劇「夕鶴」（令和4年3月20日、21日）

(2) 招聘・提携事業

- ・「近松心中物語」（10月8日～10日）

(3) 普及事業

- ・プロムナード・コンサート
- ・ワンコイン・コンサート
- ・地域での音楽祭の開催等地元商店街・自治会等と一体となったイベントの実施



【ジルヴェスター・コンサート】©飯島 隆

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

- ・定期演奏会（2021- 2022 シーズン）年間（シーズン）9回、毎回3日間公演
※2020- 2021 シーズンは、新型コロナウイルスの影響で特別演奏会に振替
- ・特別演奏会（名曲コンサート、ファミリーコンサート等）
- ・室内楽演奏会
- ・青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」（県内の全公立中学1年生を対象）
- ・アウトリーチ活動生の演奏を聴く機会の少ない小学校・特別支援学校、医療・福祉機関等に出向いて演奏等を実施
- ・県内共催公演（県内公立ホールとの共催方式により公演を実施）



【特別演奏会「佐渡裕 アルプス交響曲」】©飯島 隆

県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター・県立ピッコロ劇団）

開館から43年目のピッコロシアターは、青少年の創造活動を支え、地域文化を高めていくため、優れた舞台芸術を紹介する「鑑賞劇場」、舞台芸術人材を育成する「演劇学校・舞台技術学校」、兵庫県立ピッコロ劇団公演などの多彩な事業を展開していく。

ピッコロ劇団は、創立27年目を迎え、これまで実施してきた「ピッコロシアタープロデュース公演」「ピッコロ・わくわくステージ」「おでかけステージ」などの事業の充実に取り組む。

1 ピッコロシアター事業

(1) 鑑賞劇場

- ・文学座公演「熱海殺人事件」（9月）
- ・ピッコロ寄席（年5回）、マイム公演（4月）など

(2) 文化セミナー 舞台関係者による芸談（年2回）

(3) 実技教室 ちゃっと！狂言 など

(4) ピッコロ演劇学校（4～3月）

(5) ピッコロ舞台技術学校（4～3月）

(6) シアタースタート（9月） *0歳児からの劇場体験事業

(7) ピッコロフェスティバル（8月）



【ピッコロ演劇学校】

2 県立ピッコロ劇団事業

(1) ピッコロシアタープロデュース公演

ピッコロ劇団第69回公演「波の上のキネマ」

尼崎の小さな映画館の経営者である主人公が、創業者である祖父の波乱に満ちた人生をたどる物語

- ・2月19日～21日 芸術文化センター 阪急中ホール
（原作＝増山実 脚本・演出＝岩崎正裕（劇団太陽族））

(2) 本公演

- ・第70回公演「スカパンの悪だくみ」（5～6月）

関西弁でモリエール第2弾！

※ 昨年新型コロナウイルスの影響で中止になった演目を上演

（作＝モリエール 台本＝上原裕美（ピンクのレオタード）

演出＝孫 高宏（ピッコロ劇団員））

- ・第71回公演「いけないものだけ手にはいる」（10月）

人間の愛おしさとユーモアあふれる現代のラブストーリー
作・演出＝土田英生（MONO）

(3) ファミリー劇場

「グリム兄弟！～みんなのメルヘン、聞かせてダンケ～」

8月 ピッコロシアター、12月 芸術文化センター阪急中ホール

（作＝早船 聡（サスペンデッツ） 演出＝平井久美子（ピッコロ劇団員））

(4) ピッコロ・わくわくステージ

希望する県内の中学校に対して、ピッコロシアターでのピッコロ劇団公演鑑賞の機会を提供

※ 上記(2)～(4)中、複数の公演において、視覚障害者向けに音声ガイドを、聴覚障害者向けに字幕付き公演を用意

(5) おでかけステージ（小学校公演）

県内の小学校に対して、ピッコロ劇団が学校での公演を実施、演劇との出会いの機会を提供

「学校ウサギをつかまえろ」

（原作＝岡田 淳 台本＝眞山直則（ピッコロ劇団員） 演出＝吉村祐樹（ピッコロ劇団員））

(6) アウトリーチ活動・演劇指導活動

演劇ワークショップ「あつまれ！ピッコロひろば」、児童施設等での読み聞かせ、高等学校・大学等での演劇指導、企業・教育機関でのコミュニケーションワークショップ など

（企画県民部知事公室芸術文化課 企画運営班 主幹（企画振興担当） 長谷 玲子 内線 2764）

兵庫県立ピッコロ劇団第69回公演 ピッコロシアタープロデュース

波の上のキネマ

感動と興奮の小説、待望の舞台化
父から尼崎の小さな映画館を継いだ後介は、映画館存続の危機にさらされた。
ある日、創業者である祖父の姿を知る、自問に悩む男からの道筋をきっかけに、祖父の波乱に満ちた人生をたどることは、観出不可能と言われた絶海の頂での可能性を。
そこに若手希望の光は？

原作 増山実
脚本・演出 岩崎正裕
演出 岩崎正裕
演出 岩崎正裕

ピッコロ劇団員
今吹ひろし 原智志
関田力 平井久美子
藤野千晶 風太郎
鈴木あかり 瀬江貴路
鈴木あかり 三坂賢路
岩崎正裕 森祥文
吉村祐樹 吉村祐樹

関西俳優陣
森祥文（演出）
関田力（演出）
藤野千晶（演出）
岩崎正裕（演出）
吉村祐樹（演出）

2021年
2月19日（金）19時
20日（土）11時/16時
21日（日）11時/16時
【会場】 兵庫県立芸術文化センター
阪急 中ホール（取組西9区北11駅すぐ）

12月13日（日）チケット予約開始
【全席指定】
一般 4,500円
大学生・専門学校生 3,000円
高校生以下 2,500円

【問合せ】
兵庫県立ピッコロ劇団 FAX: 06-6426-1943
Web: <https://piccolo-theater.jp>
〒654-0012 兵庫県尼崎市西9区北11-17-8
TEL: 06-6426-8088 9:00～21:00 月曜休館（夜日の場合は日曜）

【協力】
兵庫県立芸術文化センター
兵庫県立芸術文化センター
兵庫県立芸術文化センター
兵庫県立芸術文化センター

【ピッコロ劇団第69回公演

「波の上のキネマ」】

兵庫陶芸美術館 ～「No Man's Land-陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先-」展、 丹波焼の里の魅力発信の取組など～

日本遺産に認定された日本六古窯の一つ、丹波焼の里に立地する兵庫陶芸美術館では、美術展や創作活動等により丹波焼をはじめ陶芸文化の振興・発展を図るとともに、地域との連携を深めながら丹波焼の里の魅力発信に取り組む。

1 ひょうごゆかりの古陶磁—丹波焼・三田焼・王地山焼— 展

- (1) 会 期 令和2年12月12日(土)～令和3年2月21日(日)
- (2) 概 要 近年新たに当館の収蔵品に加わった丹波焼とその周辺で作られた三田焼、王地山焼を中心に、人々の暮らしとともに使われたやきもの約90点を紹介する。

2 No Man's Land—陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先— 展

- (1) 会 期 令和3年3月20日(土)～5月30日(日)
- (2) 概 要 陶芸の素材や技法を用いながら、独創的な作風で、現代アート・デザイン・建築などの幅広い分野から注目を集める 30～40 代の若手実力作家 15 名の新作・未発表作を含む作品を通じて、「陶芸の未来」を再考する。(令和2年夏から会期を変更して開催)



【秋永邦洋《擬態化(龍)》
2019年 写真：南野馨】

3 赤木清士コレクション 古伊万里に魅せられて—江戸から明治へ— 展

- (1) 会 期 令和3年6月12日(土)～8月29日(日)
- (2) 概 要 江戸時代初めに肥前有田で磁器の生産が始まり、そのスタイルは時代とともに変化し、江戸後期から明治期には斬新で大胆な構図や、時代を投影したモダンな意匠が生み出される。本展では、赤木清士氏が収集した江戸から明治の肥前磁器を中心にその魅力を紹介する。



【有田《染付日本地図大皿》
江戸時代後期 個人蔵】

4 ザ・フィンランドデザイン展 —自然が宿るライフスタイル

- (1) 会 期 令和3年9月11日(土)～11月28日(日)
- (2) 概 要 フィンランドが近代化していく時代のデザインの歩みとその精華を、世界的な影響をもたらしたテキスタイルやガラス工芸作品を中心に、陶磁器や家具類も加え、さらに同時代のさまざまな絵画、写真資料などの作品も合わせたおよそ260件の作品群で紹介する。陶芸以外の分野まで対象を広げた初の展覧会。

5 陶芸文化の発信・交流拠点としての普及事業の展開

(1) 全国・全世界に通用する陶芸作家の養成(著名作家招聘事業)

第一線で活躍している著名作家を招聘し、制作過程の公開や若手陶芸作家との交流を実施。今回は、主に土と火を素材とし、彫刻にも、陶芸にも括りきれないような多様な作品を制作する造形作家・植松永次氏を迎える。

(2) 陶芸ファンを拡大する創作・学習活動

丹波焼窯元の指導による電動ロクロを使った陶芸工程を学ぶ県民陶芸大学、丹波立杭焼伝統工芸士の指導による高度な技法や専門知識を学ぶ技術専門講座、特別展に関連したやきもの文化を体験する陶芸文化講座等を実施する。

(3) 陶芸文化のすそ野を広げる学社連携事業

学校等と連携し、陶芸について“みる、しる、まなぶ、つくる”等のプログラムを児童・生徒等に提供する。

6 地域と連携して“まるごとエコミュージアム”を展開

「やきものの里春ものがたり」や「陶器まつり」への参画、丹波焼作品と地元茶花道協会の協働「いけばなアート展」や「秋の茶会」を開催する。

7 美術館へのアクセス向上～直通バスの運行

当館への誘客促進とアクセス向上のため、当館とJR篠山口駅を結ぶ直通バスの運行とJR相野駅発便の増便を引き続き実施する。

横尾忠則現代美術館 ～「Curators in Panic～ 横尾忠則展 学芸員危機一髪」など～

美術家・横尾忠則氏から寄贈寄託のあった優れた作品等について、広く県民に鑑賞する機会を提供するため、県立美術館王子分館「横尾忠則現代美術館」において、展覧会や著名人を招いてのイベントなどを開催し、世界的に評価の高い横尾作品の魅力を広く伝える。

1 展覧会の開催

名称(仮称)・期間	内容	参考作品
企画展 「Curators in Panic ～ 横尾忠則展 学芸員危機一髪」展 令和3年3月27日～ 8月22日	いまや国内外での展覧会に引っ張りだこの横尾忠則作品。2021年から翌年にかけて相次ぐ個展に、当館から出品される作品は100点以上になる。嬉しい反面、学芸員にとっては一大事のこの状況で、当館学芸員が残った作品から「推せる作品」を選び出す。 選抜メンバーから外れた「うちの子」たちに光を当て、愛情を語る展覧会である。	 《Panic ぱにっくパニック》 2002-2012年
企画展 「横尾忠則の恐怖の館」展 令和3年9月18日～ 令和4年2月27日	我々は未知のものに対してしばしば恐怖を抱く。それは好奇心と表裏一体であり、怖いけど見たい、といったアンビバレントな感情をも誘発する。 横尾忠則は見えるものや科学で説明できる領域外にも深い関心を寄せており、その作品世界は必然的に「恐怖」や「好奇心」と密接に関わっている。 本展では、その作品を通じて「芸術」と「恐怖」との関係性について考察する。	 《業》 1985年頃
Yokoo Tadanori Collection Gallery (前期) 令和3年3月27日～ 8月22日 (後期) 令和2年9月18日～ 令和4年2月27日	2021年3月より当館4Fに新設される横尾忠則コレクションギャラリーでは、横尾忠則の手もとに保管されてきた多彩なコレクションや資料などを、様々な角度から紹介する。 ギャラリーのお披露目となる前期には、グラフィックデザイナー時代の代表的な原画や装幀などを、後期には同時開催の企画展「横尾忠則の恐怖の館」で拡大出力してディスプレイされた資料の原画などを展示する。	 《新輯薈薇刊》 1971年

(※展覧会名、出品作品などは変更される場合があります。)

2 コレクションギャラリー等のオープンについて

令和3年3月27日、美術館4階に横尾忠則の手もとに保管されてきた多彩なコレクションや資料など、様々な角度から紹介するコレクションギャラリーと、美術館から見える風景とそれを撮影したコラージュの風景によって創出された横尾氏の絵画のような空間を体感できるスペースがオープンします。



(企画県民部知事室芸術文化課 企画運営班 主幹 (企画振興担当) 長谷 玲子 内線 2764)

県立美術館 ～特別展「コシノヒロコ展」など～

県立美術館では、国内や海外の優れた芸術家による名作を紹介する展覧会や、兵庫ゆかりの美術作家などの作品を紹介する展覧会など、幅広い層を対象に様々な特別展を開催する。

1 コシノヒロコ展（仮題）

(1) 会期 令和3年4月8日（木）～6月20日（日）（65日間）

(2) 概要

- ・歴代コレクションから選び抜かれた洋服、絵画などを一堂に集め、ファッションデザイナー・コシノヒロコの仕事の全貌を紹介
- ・困難と繁栄の時代を生き抜いたコシノの作品を通して「ときめき」や「本当の豊かさ」とは何かを考える展覧会

(3) 主な出品予定作品

- ・コシノヒロコのファッション、絵画、コラボレーション映像 など



【2014年秋冬コレクションより】

2 アイノとアルヴァ 二人のアアルト フィンランドー建築・デザインの神話

(1) 会期 令和3年7月3日（土）～8月29日（日）（56日間）

(2) 概要

- ・日本でも人気の高い北欧フィンランドの建築家、アイノとアルヴァのアアルト夫妻による建築や家具のデザインを紹介
- ・最強のユニットであった夫妻による協働に焦点をあて、これまで注目されてこなかったアイノの建築家・デザイナーとしての実績と思想を紹介

(3) 主な出品予定作品（作品点数：約260点）

- ・アイノとアルヴァの構想スケッチ、建築図面・模型、写真・映像、家具 など



【アイノ・アアルトとアルヴァ・アアルト
1940年代 Aalto Family Collection】

3 ハリー・ポッターと魔法の歴史

(1) 会期 令和3年9月11日（土）～11月7日（日）（50日間）

(2) 概要

- ・J・K・ローリング作のファンタジー小説『ハリー・ポッターと賢者の石』の国際巡回展
- ・着想の源になった薬学、錬金術、天文学、占星術などを大英図書館所蔵の書籍をはじめとする様々な資料を通じて紹介
- ・J・K・ローリング所蔵の直筆原稿やスケッチも合わせて展示

(3) 主な出品予定作品（作品点数：約140点）

- ・ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス《魔法円》 など



【ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス
《魔法円》1886年 油彩、カンヴァス テート蔵 ©Tate, London 2019】

4 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展

(1) 会期 令和3年11月20日（土）～令和4年2月27日（日）（84日間）

(2) 概要

- ・大英博物館やルーヴル美術館などと並ぶ世界屈指のエジプト・コレクションを誇るオランダのライデン国立古代博物館が所蔵する、ミイラや副葬品などを200点以上展示
- ・近代人を魅了した遺跡発掘から現代科学によって解明されたミイラの製作法など古代エジプト文明の魅力を様々な視点から紹介



【《パディコンスの『死者の書』》第3中間期、第21王朝
(前1076-944年頃) パピルス ライデン国立古代博物館】

(3) 主な出品予定作品（約230点）

- ・《パディコンスの『死者の書』》第3中間期、第21王朝（前1076-944年頃） など

（教育委員会事務局社会教育課 副課長兼施設・管理班長 入江 かほり 内線5760）

県立歴史博物館 ～特別企画展「絵そらごとの楽しみー江戸時代の絵画からー」など～

県立歴史博物館では、幅広い世代が身近な生活や暮らしから歴史を学習し、交流を楽しみながらふるさとの歴史を再発見できる「交流博物館」として、さまざまな切り口で歴史を捉えた魅力ある展覧会を開催する。

1 特別企画展「絵そらごとの楽しみー江戸時代の絵画からー」

(1) 会 期

令和3年1月30日（土）～3月21日（日）

(2) 概 要

活気あふれる都市やのどかな農村風景。働く人々や遊びまわる子どもたち。四季を彩る花と鳥。

江戸時代の絵画には、さまざまな景色や人、いきものが描かれるが、そこには、現実とは異なるイメージが重ねられたり、当時の人びとにとって理想的な姿が投影されたりすることがあった。

こうした絵のなかに隠された当時の「絵そらごと」を読み解くことで、これらの作品をより深く楽しむことができる。

この展覧会では、当館の収蔵品と地域ゆかりの作品を中心に、江戸時代の絵画の「絵そらごと」の楽しみをお届けする。



【石田幽汀「四季風俗谷屏風」】(部分)
江戸時代中期 当館蔵

2 特別企画展「広告と近代の暮らし」

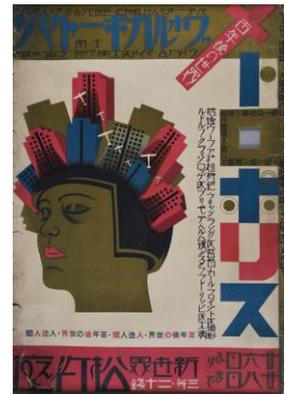
(1) 会 期

令和3年4月24日（土）～6月20日（日）

(2) 概 要

広告としての役割をもっていた錦絵や地域の企業、商店が顧客に配布していた引札にはじまり、近代の新しいメディアとしての新聞・雑誌に掲載された広告欄、そして映画やイベント、百貨店のポスター、チラシにいたるまで、近代の社会では、さまざまな広告が生み出されてきた。

この展覧会では、当館が所蔵する資料を中心に、明治から大正、昭和にかけての多彩なデザインを持つ広告の移り変わりとともに、その背景にある近代の暮らしの変化をたどる。



【映画「メトロポリス」ポスター】
昭和戦前期 当館蔵(入江コレクション)

3 特別企画展「唱歌！ 西洋音楽がやって来たー明治の音楽と社会ー」

(1) 会 期

令和3年7月17日(土)～9月5日(日)

(2) 概 要

平成18年、文化庁と日本PTA全国協議会はアンケートをもとに「親子で歌いごう 日本の歌百選」101曲を選定した。

実はその中には日本古来の歌は4曲しかなく、多くは明治以降に西洋音楽の枠組で作られた唱歌などである。唱歌が生まれてから約140年、これらの歌は伝統文化と感じられるほど私たちになじんでいる。

この展覧会では、幕末の日本人と西洋音楽との出会い、明治期の西洋音楽の導入と日本の社会や文化に与えた影響などを紹介する。



【幕末軍隊鼓手人形】
江戸時代末期～明治期
当館蔵(入江コレクション)

(教育委員会事務局 文化財課 主幹 村上 真由美 内線 5763)

県立考古博物館 ～特別展「弥生時代って知ってる？」など～

県立考古博物館では、考古学が解き明かした兵庫県の地域文化の特徴を、わかりやすく物語り性豊かに伝えるとともに、日本各地との地域間交流などの視点を加えながら考古学研究の最前線を解説し、歴史の謎を解く楽しさに満ちた特別展等を開催する。

1 春季特別展 「弥生時代って知ってる？—2,000年前のひょうご—」

(1) 会 期

令和3年4月～7月

(2) 概 要

弥生時代は大陸との交流を背景に、水田稲作や金属の使用がはじまり、ムラからクニへと、現在のくらしの元となる大きな社会の変化が起こった時代である。

県内の弥生時代の遺跡をはじめ、吉野ヶ里遺跡（佐賀県）など、弥生時代の様々なトピックを、わかりやすく紹介する。

(3) 主な展示品

ぼんづか
望塚銅鐸（加古川市出土 当館蔵）

はとうしよくつきゆうへいほそがたどうけん
把頭飾付有柄細形銅劍（国指定 吉野ヶ里遺跡出土 文化庁蔵）



はとうしよくつきゆうへいほそがたどうけん
【把頭飾付有柄細形銅劍
佐賀県吉野ヶ里遺跡出土】

2 夏季企画展 「淡路島発掘(仮称)」

(1) 会 期

令和3年7月～8月

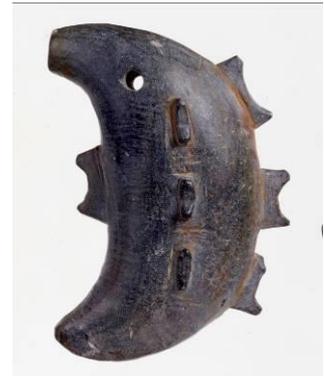
(2) 概 要

日本遺産にも認定された「国生みの島・淡路」。これまで取りあげられる機会が少なかった珍しい出土品を展示し、淡路を特徴づける島内外の政治関係や交流、祭祀のあり方について紹介する。

(3) 主な展示品

こもち
子持勾玉（県指定 南あわじ市うりゅう雨流遺跡出土 当館蔵）

よこしやくし
横杓子（県指定 洲本市下加茂遺跡出土 当館蔵）



【子持勾玉 雨流遺跡出土】

3 秋季特別展 「屋根の上の守り神—鷗尾・鯨—(仮称)」

(1) 会 期

令和3年10月～11月

(2) 概 要

しび 鷗尾・しやちほこ 鯨 は建物頂部のひときわ目立つ位置に置かれた屋根飾りである。鳥の羽をイメージした鷗尾は主として古代寺院の建物に、龍の顔をした魚を表現した鯨は城の天守閣などの建物に使われた。建物を立派に見せる装飾であるだけでなく、災いを防ぐ願いも込められている。

普段は屋根の上にあるために見ることができない鷗尾の装飾、鯨の丁寧な表現を身近に感じることで、寺院や城郭の建物の象徴でもある鷗尾・鯨に込められた想いとその変遷を紹介する。

(3) 主な展示品

鷗尾（県指定 明石市高丘3号窯出土 明石市蔵）

鯨（明石市明石城跡出土 当館蔵）



【鷗尾 明石市高丘3号窯出土】

県立考古博物館加西分館「古代鏡展示館」 ～リニューアル記念展「青銅の時代と唐王朝の華（仮称）」など～

古代鏡展示館は、国内有数の古代中国鏡コレクション(千石コレクション)を所蔵しているが、このたび千石唯司氏より新石器時代から唐の時代にわたる金属器、陶器などの多様な作品を受贈した。

県民がこれらの貴重な作品をゆったり鑑賞できるよう展示室を増築し、令和3年春に新展示室がオープンする。オープンを記念し、新資料を中心とした館蔵品を紹介する展覧会を開催する。

鏡にとどまらない多様な作品がもつ歴史的な意味と、芸術的な魅力を情報発信し、新たな作品構成で県民が親しみをもって古代中国の文化を学ぶことのできる博物館の新展開をスタートさせる。

1 リニューアル記念展 「青銅の時代と唐王朝の華（仮称）」

(1) 会 期

令和3年春～9月

(2) 概 要

面積が増した展示室で、三国時代以前の銅鏡をはじめ、権威を示す青銅器を中心とした工芸品、隋唐時代に開花した国際色豊かな貴族文化を映す陶俑などの作品の魅力を紹介する。特にリニューアルにあわせて殷から戦国時代の打楽器を特集し、日本の弥生時代の銅鐸と対比して展示する。

(3) 主な展示品

青銅器 鏡(どう) (2,500年前)、銅剣 (2,300年前)、三彩 馬 (1,300年前)



【青銅器 鏡】



【銅剣】



【三彩 馬】

2 夏季スポット展示 「漢鏡銘文を読む1（仮称）」

(1) 会 期

令和3年7月～9月

(2) 概 要

鏡の銘帯に記された詩文から、そこに込められた人々の思いなどを紹介する。

(3) 主な展示品

異体字銘帯鏡 (2,100年前)



【異体字銘帯鏡】

3 秋季企画展 「鏡中の天（仮称）」

(1) 会 期

令和3年9月～令和4年3月

(2) 概 要

鏡背面に表現された神秘的な世界、宇宙からそこに表現された思想的な意味を読み解いていく。

(3) 主な展示品

方格規矩四神鏡 (2,100年前)



【方格規矩四神鏡】

■ オープン施設

芸術文化観光専門職大学の開学

芸術文化と観光の視点を持ち、両分野での事業活動を通じて地域に新たな活力を創出する専門職業人を育成するとともに、地域に根ざした教育研究活動の推進と地域及び国際社会への貢献を目指す専門職大学が開学する。

1 基本事項

- (1) **名 称** 芸術文化観光専門職大学
- (2) **学部学科** 芸術文化・観光学部／芸術文化・観光学科
- (3) **学生定員** 入学定員 80 名（収容定員 320 名）
- (4) **設置場所** 豊岡市山王町（大学学舎及び学生寮を整備）
- (5) **開学時期** 令和 3 年 4 月
- (6) **学長予定** 平田オリザ氏（劇作家・演出家）
- (7) **運営主体** 兵庫県公立大学法人（仮称）



2 大学の特色

- (1) **国公立大学初、演劇を本格的に学び、これを基礎に芸術文化・観光分野で地域を活性化する高等教育機関**
 - ・ 1 学部 1 学科の 4 年制大学
- (2) **1 年次に全員がコミュニケーション演習を履修**
 - ・ 演劇手法を用いた「心を動かす対話的コミュニケーション能力」の養成
- (3) **学生に寄り添う徹底した少人数教育**
 - ・ 1 学年 80 人で編成し、授業は原則 40 人以下で実施
- (4) **地域とともに深い問題意識を育み、そこから社会に新たな価値を提案、実装する教育研究**
 - ・ 地域と一体となった地域リサーチ&イノベーション（仮称）センターによる創造活動
 - ・ 地域をフィールドにした実践教育、人づくり
- (5) **世界に通用する地域の主役を養成**
 - ・ 専門職業人として活躍できる実践的な語学教育
 - ・ 学生全員が体験できる海外留学プログラム
- (6) **授業の 1／3（約 800 時間）を実習に充てた実践的な教育課程**
 - ・ 地域産業と連携し、充実した実習プログラムを展開
 - ・ 行政、住民、学生が一体となった芸術文化・観光プロジェクト実習（国際演劇祭）の実施
 - ・ アクティブ・ラーニングによる実践的かつ体系的な実習の実施
- (7) **劇場等を備えた実習棟及び 1 年生全員が共同生活を行う学生寮の整備**
 - ・ 舞台芸術学修のための劇場やスタジオ等の施設を備えた実習棟
 - ・ 共同生活によるコミュニケーション力の向上や、反転授業における事前学修等のグループディスカッションを行う場としての学生寮

3 施設の概要

(1) 規模

- ① **学 舎** 教育研究棟 延床面積 8,486.55 m²（S 造、4 階建て）
実 習 棟 延床面積 3,446.35 m²（RC 造、2 階建て）
- ② **学生寮**（定員 105 名）延床面積 3,479.52 m²（S 造、3 階建て）

(2) 特徴的な施設

- ① **図 書 室**
教育・研究に必要な図書、学術雑誌、視聴覚資料等を整備
（10 万冊収蔵可能）
- ② **劇 場**
舞台機構や音響照明等を学ぶための設備を整備（220 人収容可能）
- ③ **スタジオ**
言葉や身体のやりとりを通じてコミュニケーション力を養成



【学舎 外観イメージ】



【学生寮 外観イメージ】

（企画県民部専門職大学準備室専門職大学準備課 管理班 一二三 隆 内線 3048）

県立兵庫津ミュージアム（仮称）のプレオープン【初代県庁館（仮称）のオープン】

千年を超える歴史を誇る港湾都市であり、初代県庁が置かれた“始まりの地”である兵庫津に、要衝地としての歴史や独自の過程を辿った兵庫県の成り立ち、五国の魅力や多様性を発信する拠点「兵庫津ミュージアム（仮称）」の整備を進めている。

ミュージアムを構成する2施設のうち、復元施設である初代県庁館（仮称）を令和3年秋（予定）に先行してオープンする。

1 基本理念

「ここにしかない歴史を発見し、兵庫ファンを増やす拠点施設」をめざす。

2 整備方針

- (1) 県設置当時の歴史空間を体験する「初代県庁館（仮称）」（復元施設）と、県の成り立ちや歴史・文化・産業など県の魅力を理解する「ひょうごはじまり館（仮称）」（展示施設）を一体整備
- (2) 兵庫津や兵庫県のガイダンス施設としての4つの位置づけ
 - ① 歴史ミュージアム機能を持った県のPR施設
 - ② 多彩な人物、産業遺産など、来館者の多様な興味関心に応える展示施設
 - ③ 地域団体や周辺企業、県内博物館、大学等と連携・協働して事業を展開する施設
 - ④ 県の成り立ちを県民が振り返り、ふるさとへの誇り、愛着を育む施設

3 施設の概要

【所在地】神戸市兵庫区中之島2丁目

区分	県立兵庫津ミュージアム（仮称）	
	復元施設：初代県庁館（仮称）	展示施設：ひょうごはじまり館（仮称）
開館時期	令和3年度・秋	令和4年度・下期
規模等	延床面積：約540㎡（平屋建）	延床面積：約3,880㎡（地上3階建を想定）
整備方針 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現存する絵図等に基づき時代考証を行い、歴史空間を体感する施設として復元 ・復元を基本に、その範囲内で一部活用できるように、利便性も確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ミュージアム機能をもった県のPR施設として整備 ・千年を超える歴史を誇る港兵庫津の歴史、独自の過程を辿った県成立の歴史、変化・多様性に富む兵庫五国を展示
主な建物 又は諸室	勤番所、月番同心屋敷、地付同心屋敷、船見番小屋、門番所など	展示室（常設、企画）、情報プラザ、研修室、インフォメーションスペース、事務室など



【初代県庁館パース図】



【兵庫津ミュージアム周辺地図】

4 復元内容

初代県庁舎は新たに庁舎が整備されたのではなく、大坂町奉行所兵庫勤番所の建物を用いて置かれた。この近代的でも豪華でもない建物こそが廃藩置県に先立ち、新政府の外交窓口として設置された兵庫県成立の独自性を象徴していることから、勤番所、同心屋敷、船見番小屋など、当時の建物を復元整備する。また、体感や遊びの要素を含めた仕掛けの設置も予定している。

（企画県民部地域創生局兵庫津ミュージアム整備室企画整備班長 岡田 翼 内線 3062）

こどもの館のリニューアルオープン

こどもの館は、平成元年7月の開館以降、県内の児童館の中核施設として、また、子どもたちの健やかな育成に関わる機関や団体の拠点として、子育てに関する研修会や楽しいワークショップなどを開催し、親子がともに成長するための事業を展開している。

このたび、建物設備の安全性及び利用サービスの向上のための計画修繕工事を実施し、令和3年8月（予定）にリニューアルオープンする。

リニューアルオープンを記念し、新しくなったこどもの館を広く県民に周知するとともに、さらなる利用促進を図るため、記念事業を実施する。

1 施設の概要

- (1) 種 別 大型児童館
- (2) 住 所 兵庫県姫路市太市中 915-49
- (3) 敷地面積 82,647.37 m²
- (4) 開館時間 9:30～16:30（毎週火曜日、月末、年末年始を除く毎日開館）
- (5) 主な行事

ア こどもフェスティバル

5月5日の「こどもの日」などに、子どもたちや家族で参加できる行事を実施する。

イ こどもの館劇団発表会

演劇活動を通じて情操や自己表現力を豊かにするため、中・高校生の劇団員を養成し、発表会を開催する。

ウ 児童図書室、実習室・工作館

児童の健やかな成長を推進する優良な図書や出版物を提供するとともに、紙工作、木工作を通して児童の想像力や創造性、表現力等を養う。

エ 高校生等ふれあい体験ひろば

高校生や特別支援学校生等の若者が、地域・学校・行政等と協働した、様々な社会体験活動に参画することで、自尊感情を育み、自分と地域に誇りをもつ。



【こどもフェスティバル】



【こどもの館劇団】

2 工事の概要

- (1) 本館棟：屋上防水改修、外壁改修、外構改修、空調機器入替え、その他附随工事 等
- (2) 工作館棟：屋上防水改修、外壁改修、外構改修、その他附随工事 等
- (3) 便所棟：屋上防水改修、外壁改修 等

3 リニューアルオープン記念イベントの開催

(1) イベントステージ

高校生によるコーラスや演劇、小中学生の吹奏楽演奏、バレエ、人形劇 等

(2) 入館者1,000万人記念セレモニー

1,000万人目の入館者及び家族に記念品を贈呈（予定）

（企画県民部女性青少年局青少年課 森本、大田 内線 2748）

人と防災未来センター東館のリニューアルオープン

人と防災未来センターは、平成14年4月のオープン以来、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承し、災害による被害の軽減に貢献するための取組を進めており、国内外から多くの方に来館していただいている。

幅広い世代が、南海トラフ地震等の巨大災害や風水害に備える力、最新の防災知識を楽しみながら学べる施設として、人と防災未来センター東館3階を「BOSAIサイエンスフィールド」として整備し、令和3年4月にリニューアルオープンする。

あわせて、西館3階の語り部コーナーについて、語り部の映像音声を8言語に対応する。



【人と防災未来センター東館（左は西館）】

【リニューアル整備の概要】

1 時 期 令和3年4月

2 内 容

(1) BOSAIサイエンスフィールド（東館3階）

①ディザスター・ウォール

大型パノラマに投影した自然現象と人間の生活の交わりに関するアニメーション展示により、災害が生活に影響を与えることを理解

②ジオ&スカイホール

ハンマーで叩いて地震を発生させるなどのゲーム的要素を取り入れた模型を使い、地震や津波、台風等の災害のメカニズムを楽しみながら学習

③ハザードVRポート

360度視界のVR映像と振動装置等で、災害（地震、津波、台風）を体感し、その脅威を学習

④ミッションルーム

刻一刻と状況が変化するシナリオの下、リアルに再現された自宅やコンビニで、災害時に自ら状況を判断する避難行動を体験・検証することで、避難行動について学習

⑤クエスチョンキューブ

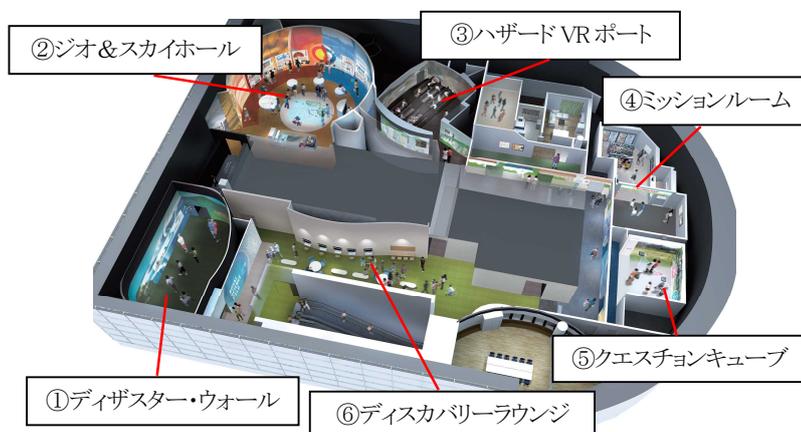
災害時に取るべき行動について、2択クイズに回答し、避難時の判断のプロセスを体験、学習

⑥ディスカバリーラウンジ

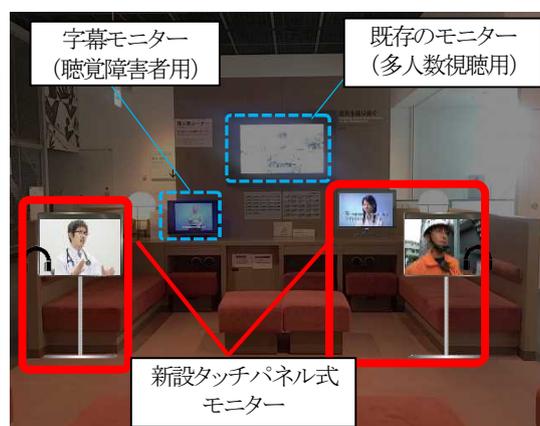
最新の防災に関する知見・研究成果を展示

(2) 語り部コーナー（西館3階）

8言語音声（日、英、中国（繁体/簡体）、韓国、ベトナム、インドネシア、タイ）に多言語化



【BOSAIサイエンスフィールド（イメージ図）・東館3階】



【語り部コーナー（イメージ図）・西館3階】

（企画県民部防災企画局防災企画課 防災企画班長 田路 正崇 内線 5352）

北播磨・阪神地域へのこども家庭センターの新設

急増する児童虐待相談に迅速に対応するため、北播磨地域に加東こども家庭センター（仮称）、阪神地域に尼崎こども家庭センター（仮称）を新設する。これにより、県内5カ所体制であったこども家庭センターが7カ所体制となり、よりきめ細かい対応を行っていく。

1 加東こども家庭センター（仮称）（北播磨地域）

北播磨地域におけるアクセス性の向上を図るため、加東こども家庭センター（仮称）を新設

- ・R2. 10 加東こども家庭センター分室の開設
 - 〔北播磨地域に係る養育、虐待、非行相談など、中央こども家庭センター（明石市）業務の一部を実施〕
- ・R3. 4 加東こども家庭センター（仮称）の開設
 - 〔障害相談等を含め、北播磨地域におけるすべての業務を実施〕



【加東こども家庭センター】

- (1) **所在地等** 加東市下滝野 1269-2（加東市元滝野庁舎）、TEL:0795-27-8250
- (2) **開設時期** 令和3年4月
- (3) **所管区域** 北播磨5市1町（西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町）

2 尼崎こども家庭センター（仮称）（阪神地域）

虐待件数が県内で最も多い阪神地域におけるきめ細かな対応を図るため、尼崎こども家庭センター（仮称）を新設

- (1) **所在地等** 尼崎市若王子 2-18-3（あまがさきひと咲きタワー内）
 - ・尼崎市が設置している子どもや子育てに関する総合支援施設「いくしあ」（あまがさき・ひと咲きプラザ内）に隣接する、ひと咲きタワー内に開設
 - ・市と連携をさらに強化し、対応力を強化
- (2) **開設時期** 令和3年4月
- (3) **所管区域** 尼崎市



【尼崎こども家庭センター（ひと咲きタワー内）】

【参考】県内児童相談所（こども家庭センター）

名称	住所	電話	令和元年度相談受付件数 (うち児童虐待)
中央こども家庭センター	明石市北王子町13-5	078-923-9966	3,451 (1,016)
西宮こども家庭センター	西宮市青木町3-23	0798-71-4670	4,795 (1,866)
川西こども家庭センター	川西市火打1丁目12-16 キセラ川西プラザ3F	072-756-6633	4,422 (1,341)
姫路こども家庭センター	姫路市新在家本町1丁目1-58	079-297-1261	3,353 (1,012)
豊岡こども家庭センター	豊岡市正法寺446	0796-22-4314	704 (145)
【神戸市所管】			
神戸市こども家庭センター	神戸市中央区東川崎町1丁目3-1	078-382-2525	8,651 (2,394)
【明石市所管】			
明石こどもセンター	明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7	078-918-5097	1,895 (534)

(健康福祉部少子高齢局児童課 班長 水川 晃子 内線 2927)

ひょうご環境体験館のリニューアルオープン

ひょうご環境体験館は、県民による環境の保全と創造に関する活動を促進するための環境学習の拠点施設として、シアターや展示スペース、体験プログラムを実施する地球工房を設置している。

開設から約 10 年が経過し、地球環境の持続性への危機が著しく高まる中、県民、特に次世代を担う子ども達の環境意識を高め、環境の保全と創造につなげていく役割を強化するため、令和 3 年 3 月（予定）にリニューアルオープンする。

1 施設の概要

- (1) 場 所 佐用郡佐用町光都 1 丁目 330-3
- (2) 開館時間 10:00～17:00
- (3) 休 館 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）、12 月 31 日及び 1 月 1 日



2 整備内容

(1) 展示グラフィック・模型の刷新

危機的な地球の状況（気候変動、海洋プラスチック問題等）に加え、兵庫・西播磨の先導的な環境創造の取組（豊かで美しい瀬戸内海の再生、六甲山の再生等）を伝える展示に刷新

(2) シアター映像ソフトの刷新

地球環境の変化や豊かな自然が壊されている現状をリアルに感じる映像に刷新

(3) 中庭の植栽展示の新設

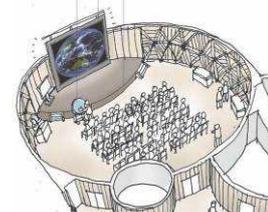
立杭焼を使用した植栽展示により、環境と生物の密接な関係を体感

(4) アクセス路の舗装

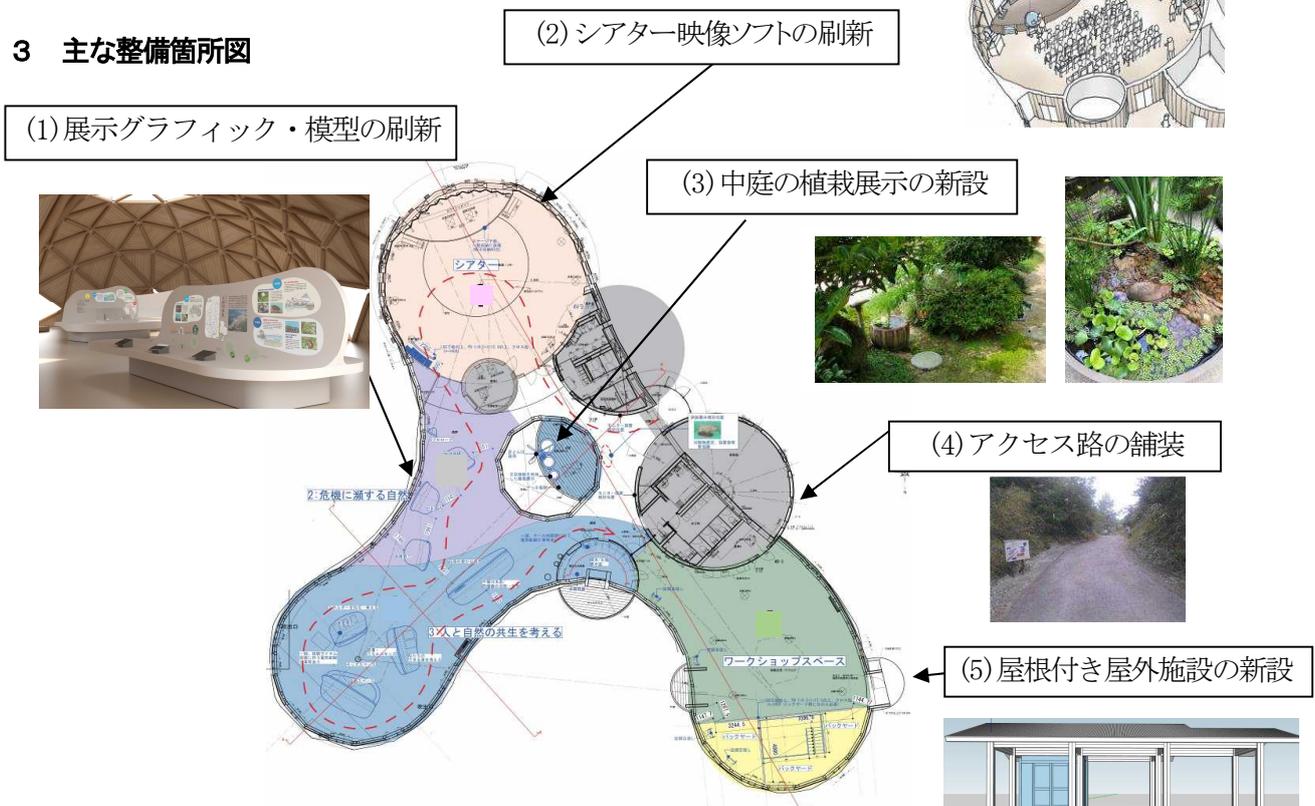
だれもが安心安全に利用できるよう整備

(5) 屋根付き屋外施設の新設

雨天時でも屋外での体験が可能



3 主な整備箇所図



（農政環境部環境創造局環境政策課 活動支援班長 長谷川 陽子 内線 3398）

播磨科学公園都市 バスターミナル・交流拠点の供用開始

播磨科学公園都市における効率的な移動手段を確保するとともに交通の円滑化を図るため、都市中心部の芝生広場に交通結節拠点となるバスターミナルを整備する。これにより、JRの各駅とのバス連絡網の利便性向上や、令和3年度に予定されている播磨自動車道全線開通にあわせた高速バスの誘致を目指す。

また、交通結節拠点の隣接地に地域住民及び来訪者が交流できる施設を整備し、都市の活性化を図る。

1 バスターミナル・交流拠点の概要

- (1) **整備箇所** 播磨科学公園都市 芝生広場（赤穂郡上郡町光都2丁目）
- (2) **整備内容** ①乗降場：路線バス（相生、播磨新宮、上郡方面）等、②待合所、③トイレ、④コミュニティスペース
- (3) **供用開始** 令和3年3月（予定）



【参考】交通結節拠点の機能

- ①周辺地域と連絡する路線バス拠点
 - ・効率的な移動手段を確保するため、都市内各施設への乗り換え拠点となる芝生広場の交通結節拠点を中心に、現行路線バスの再編を行う。
- ②都市内交通の拠点（新たなモビリティサービスの導入）
 - ・交通結節拠点を中心に、都市内への移動については、小型EV等によるサービスを導入する。
- ③高速バスの拠点
 - ・令和3年度の播磨自動車道全線開通に向け、岡山、神戸、大阪方面等の高速バスを誘致する。

その他の主な供用開始施設

【道路改良】			完成予定
1 (国) 482号 大谷バイパス	香美町小代区城山～大谷	910m	3月
2 (主) 野島浦線	淡路市中持	200m	3月
3 (主) 関宮小代線 吉井バイパス	養父市吉井～中瀬	2,100m	4月
4 (一) 長谷市川線	神崎郡市川町澤	500m	5月
5 (主) 三木宍粟線 高木末広バイパス	三木市別所町高木～末広	980m	12月
【歩道設置】			
6 (主) 三田篠山線	三田市小野	750m	3月
7 (主) 三木宍粟線	福崎町大貫	500m	3月
8 (一) 長安寺西岡屋線	丹波篠山市東木之部	500m	6月
【歩道リニューアル】			
9 (主) 川西篠山線	猪名川町木間生	610m	2月
【砂防施設】			
10 岡崎川	神河町新野	砂防えん堤工	3月
11 万葉台地区	朝来市和田山町	擁壁工	3月
【県営住宅】			
12 明石舞子北第1住宅	神戸市垂水区	80戸、1棟、8階	3月
13 明石大久保南住宅	明石市大久保町	112戸、2棟、9階	5月
14 宝塚御所ノ前住宅 (第2期)	宝塚市伊子志	35戸、1棟、9階	6月
15 宝塚山本住宅 (第3期)	宝塚市山本丸橋	44戸、1棟、11階	9月
16 姫路書写住宅 (第3期)	姫路市書写	43戸、1棟、6階	10月
17 和田山枚田住宅	朝来市和田山町	25戸、1棟、6階	11月

その他主な供用開始施設



■ 地域創生に向けた各地域の取組

※県民局・県民センターごとに重点事業3つに★を付けた。

神戸の新たな魅力と賑わいづくり

〔★：重点事業〕

豊かな歴史と文化、美しい自然、海と山に囲まれたまち並みなど神戸が持つ魅力スポットを磨き上げ、地域と連携して賑わいづくりを進める。

1 芸術・自然・歴史的遺産を活かした新たな魅力・賑わい創出事業の展開

(1) 海・山・アートをつなぐ新たな観光エリアの創出〔★〕

神戸東部の県立美術館を核とするアート・六甲山・海岸を一同に楽しめる立地を活かし、アートイベントとの連携、周遊ルートの提案を行い、新たな観光エリアの創出を図る。

- ・新たなアート作品の完成披露イベントの開催
- ・アート作品と海・山を巡るセルフツアー促進に向けた環境整備

(2) 六甲山ビジターセンターの機能充実〔★〕

六甲山を活用した健康的なレジャーの提案を積極的に実施する。また、トレッキングやハイカーに向けた情報発信を強化する。

- ・ライブカメラを設置するなど、山歩きに役立つタイムリーな情報を発信



【六甲山ビジターセンター
ライブカメライメージ】

(3) 神戸西部3都を巡るワンデーマーチの開催等〔★〕

神戸市街地西部の新開地・兵庫津・新長田の3地域は、歴史や文化、食などの豊かで個性的な資源がある。マイクロツーリズムが注目される中、西部3都の魅力を一体的に発信、特色ある楽しい街歩きを提案することで、市民や県民の来訪を促す。

- ・ウォークイベントの実施
- ・マップやSNSによる西部3都のPR



【神戸西部3都位置図・ワンデーマーチのルート】

(4) 湊川隧道の保存・活用事業

明治時代の優れた河川土木技術を伝える湊川隧道を広くPRするとともに、関係機関と連携し、適切で効果的な保存・活用を進める。

- ・湊川隧道一般公開20周年記念トンネルサミットの開催

2 農都・神戸の推進

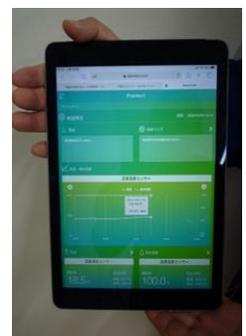
(1) 農の神戸スマート化作戦

ポストコロナ社会を見据え、先端技術を積極的に導入したスマート農業を推進し、神戸地域の特性を活かした農畜産物生産性の向上や効率化、高品質化を支援する。

- ・ICT技術導入による安全安心な子牛の繁殖管理の実現
- ・出荷予測に基づく葉物野菜の販売環境の有利化

(2) 農の神戸ブランド創出作戦

神戸産の農畜水産物の生産拡大を図るため、神戸ブランドの創出に向け生産者等が行う新商品開発の取組を支援する。



【ICT技術（タブレット端末）】

3 ふれあいフェスティバルの開催

「地域・交流・共生」を基本理念に、ひょうご・神戸地域の魅力を発信するふれあいフェスティバルを開催する。

(神戸県民センター県民交流室次長 柳田 順一 078-647-9103)

住んでみたい、住んで良かった阪神南地域の実現

〔★：重点事業〕

阪神間モダニズムや日本酒文化など魅力ある地域資源や全国有数のものづくり産業の集積地としての強みを生かし、誰もが住んでみたい、住んで良かったと思える地域の実現を目指す。

1 活力と魅力あふれる阪神南 ～交流の拡大及びにぎわいの創出～

(1) 阪神間モダニズム再発見プロジェクトの推進〔★〕

① 阪神間モダニズムセミナーの開催

阪神間モダニズム建築である甲子園会館を会場に、当時、鑑賞されていた音楽の解説付き鑑賞会と館内ツアーを開催するとともに、ダイジェスト動画を配信する。



【武庫川女子大学甲子園会館】

② 阪神間の美術館連携によるGUTAI再発見事業

具体美術の普及に向けた取組を行っている阪神間の美術館等と連携し、具体美術の認知度向上に向けた取組を検討する。

③ 伝統芸能等の鑑賞促進

阪神間モダニズムを育む文化的素地でもある阪神間ゆかりの伝統芸能(「えびすかき」等)や舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

(2) 阪神地域マイクロツーリズムの振興〔★〕

① スペシャリストと巡る阪神間マイクロツーリズムツアーの実施

「酒造文化」、「阪神間モダニズム」などのテーマを設定し、専門家と巡る日帰りツアーを実施し、その内容をラジオ番組で紹介する。

② 日本遺産「伊丹諸白と灘の生一本」等魅力発信事業

ア フォトコンテストの開催

あにあん倶楽部を活用し、「日本酒」や「阪神・淡路ベイエリア」をテーマに、美しい風景や交流の様子の写真を募集する。

イ 酒蔵等をめぐる「はばタンウォーク」の開催

鉄道事業者と提携し、酒蔵など阪神南地域の見どころを組み込んだウォークイベントを開催する。



【白鹿記念酒造博物館(酒蔵館)】

③ 阪神地域オープンミュージアム無料開放DAY

美術館や博物館を無料開放し、文化資源へ接する機会を提供するとともに、交流の拡大及び地域の魅力を発信する。

(3) ものづくり産業等の活性化

リーディングテクノロジー(LT)企業に対し、ロボットシステム・IoT等の導入支援を行う。

また、起業プラザひょうご尼崎などの創業支援機関と連携し、創業に関する知識を持たない大学生等を対象とした出前講座を開催する。

2 環境と調和した快適な阪神南

(1) 尼崎21世紀の森づくりの推進

養蜂による緑花事業を通じて森づくりの魅力を発信するため、全国で都市養蜂に取り組む関係者によるシンポジウムを開催する。

また、尼崎スポーツの森で東京五輪の事前合宿を行う海外水泳チームに、日本文化の体験などを提供し、地域の魅力を発信する。

(2) 環境にやさしいまちづくり

除草が不要な道路補修工法の確立を目指すとともに、2025大阪・関西万博に向けたおもてなしネットワーク路線を設定し、美化を推進する。

また、街路樹カルテのデータベース化により継続的な街路樹の維持管理及び計画的な更新等を進める。



【養蜂作業の様子】

3 安全で安心な阪神南

(1) 地震・津波対策、高潮対策の推進〔★〕

「津波防災インフラ整備計画」に基づき、計画的に防潮堤の越流・沈下対策等を進める。

また、「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づき、南芦屋浜の護岸嵩上げなどを計画的に進める。

(阪神南泉民センター 泉民交流室次長 星野 美佳 06-6481-7796)

アートな暮らしが賑わう活力あるまちづくりをめざして

〔★:重点事業〕

都市と里山が近接し、阪神間モダニズムが息づく地域の強みを生かした新しいライフスタイルの創造・実現を支援することにより、輝く若者の流出を食い止め、流入を促し、地域の賑わいづくりや活性化を目指す。

1 阪神地域のブランド力が高まる「まち」の創出

(1) 「ひょうご北摂里山ライド(仮称)」の開催〔★〕

自然豊かな里山や歴史的価値のある社寺仏閣などの景観を楽しむサイクリングイベントを開催し、交流人口の拡大や観光振興につなげる。

(2) 「阪神北文化フェスタ」の開催

阪神地域で受け継がれてきた文化活動への地域住民の関心や理解を深め、次世代に継承する機運を醸成するため、地域の文化活動団体に発表の機会を提供する。

(3) 「ひょうご北摂里山アートフォーラム」の開催

ポストコロナ等新たな視点による里山利活用方策の検討が求められる中、アートの視点を加えた里山活性化を考えるフォーラム及び「里山×アート」をテーマにした作品の展示会等を行う。

(4) 農産物「メイド・イン・阪神」発信プロジェクト

阪神産農産物等のコロナ禍による需要減退からの回復を図るため、生産者と消費者等との新たな交流・連携活動を促進し、都市・都市近郊農業の魅力アップを図るプロジェクトを展開する。

- ・モバイルスタンプラリー
- ・阪神産食材を積極的に使用する飲食店の登録制度
- ・阪神産清酒・食材のフェア 等



【ひょうご北摂里山ライド(仮称) (イメージ)】

2 住み続けたい「まち」の創出

(1) 「ひょうご北摂ライフ」の推進〔★〕

「ひょうご北摂」への住み替えのきっかけづくりに資するため、県営住宅を活用したお試し居住を実施するとともに、新たに移住希望者へのオンラインによる現地案内、移住に役立つ現地紹介動画の作成、ひょうご北摂ライフSNSの開設などによる情報発信を行う。

(2) 認知症の人や高齢者にやさしい社会づくり

認知症サポート商店街の認定・支援をはじめ、「認知症さぼーとバス」の取組を支援するほか、高齢者のフレイル予防を推進するため、リハビリ専門職による出前講座を実施する。

3 歴史・文化・芸術が息づく「まち」の創出

(1) 歴史・文化や景観を生かしたまちづくり〔★〕

阪神北地域を代表する歴史・文化・景観等の地域資源を生かしたまち並みの整備等に取り組む。

①三田駅周辺散策空間の整備

三田市と連携し、市街地再開発事業による「新しいまち」と「歴史のまち」をつなぐ散策空間の再整備を検討

②清和源氏発祥の地・多田神社周辺のまち並み整備

県道多田停車場多田院線に参道風舗装を施工

(2) 阪神疏水プロジェクト～母子大池疏水の保全・活用～

管内に古くから残る疏水を将来にわたり適切に維持管理するとともに、地域の貴重な資源としての重要性を住民に周知し、地域全体で守り活用していく取組みを支援する。

(3) 「新宮 晋 アート」の魅力発信

「風のミュージアム」及び「地球アトリエ構想」のPRイベントを開催する。



【三田駅周辺散策空間の整備(イメージ)】

水辺・ものづくりのまちで生きる

〔★：重点事業〕

豊かな水辺空間とものづくり産業が集まる地域特性を生かしながら、「東播磨地域ビジョン」が掲げる将来像を達成するための施策を展開し、ウィズコロナの中で一人ひとりの生活の質の向上とふるさと東播磨の元気の実現を図る。

1 人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

(1) スマートシティの推進 〔★〕

東播磨 17 万世帯を網羅する地域 BWA を活用し、東播磨スマートシティ推進協議会が中心となり、ポストコロナを見据え、教育・防災・防犯等の住民生活に密着したデジタル化を進める。GIGA スクール構想の教育や防災・防犯の分野に加え、MaaS の実証実験の拡大、スマート農業、i-construction の導入を推進する。



【ペッパーを使ったプログラミング教育】

(2) 魅力と賑わいの拠点づくりの推進 〔★〕

明石港砂利揚げ場跡地を、全国豊かな海づくり大会までの暫定利用として釣り堀などに活用するほか、現代版北前船の周航、古民家の改修・活用などにより高砂市臨海部等の地域を活性化。また、シクロクロスや加古川を生かしたレガッタ、カヌーなどのスポーツのメッカづくりに向けた取組を推進する。

(3) 交流を促す基盤・拠点の整備と多彩なネットワークの構築 〔★〕

各市町と連携した駅周辺のまちづくりを検討していくほか、東播磨道北工区整備や国道 2 号の 4 車線拡幅、土山交差点等の渋滞交差点对策、自転車レーンの整備等により多彩なネットワークを構築する。

(4) ものづくり産業の活性化と豊かな農林水産業・食文化の展開

国内外への PR・販路開拓のため、管内中小企業のオンライン展示会への出展支援等により、ものづくり産業の魅力を発信する。また、加古川パスタ、加古川和牛、大麦の新商品開発など東播磨の「食」のブランド化を図る。

2 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくり～世界最先端環境都市東播磨～

(1) 豊かな海の再生

豊かで美しい瀬戸内海の再生に向け、栄養塩管理運転や一斉海底耕うん、かゝりぼり等を行う。また、東播磨の企業の先進的な環境配慮の取組を発信する。



【農業者と漁業者の協働によるかゝりぼり】

(2) いなみ野ため池ミュージアムの推進

いなみ野ため池ミュージアム 20 周年記念事業を開催するとともに、令和 2 年度 70 羽を超えて飛来したコウノトリの生息環境整備など、ため池コウノトリプロジェクトを推進する。

(3) ふるさと意識の醸成（子どもに笑顔とワクワクを）

高校生・大学生の地域づくりの提案実現に向け、協同して取り組むとともに、小学生等が企業を巡る「東はりまの魅力 K I D s 体験ツアー」や J R 加古川線の貸切電車で加古川の自然環境を学ぶ「地域でキラリ☆走る環境学習教室」などを開催する。

3 いきいきと暮らせる、安全安心な東播磨づくり

(1) 健康・福祉の充実による地域の元気度アップ

食生活の改善に向け、「東はりま発ヘルシーメニュー」での情報発信や市町等が実施する特定保健指導や関係団体が行う地域活動を支援する。また、授産製品を販売するチャレンジショップ「きずな」の販売力強化や対面販売以外の手法による販売拡大、農福連携など障がい者の自立を支援する。

(2) 地域防災力の向上

水田川や明石川等の河川整備を推進するとともに、NPO 等と連携し、自治会単位での防災スクールの開催を支援する。また、ため池を指定貯水施設に指定するほか、雨水貯留機能の向上や里山防災林整備に取り組む。

(東播磨県民局総務企画室長 青田 浩二 079-421-9004)

「農」と「食」・魅力体験ツーリズム等による元気な北播磨づくり

〔★：重点事業〕

①北播磨「農」と「食」の魅力づくり、②「北播磨」魅力体験ツーリズム等による交流人口・関係人口の拡大、③選ばれ、人が集う、未来の「北播磨」の地域づくりの3本の柱を中心に事業を展開し、元気な北播磨づくりを推進する。

1 北播磨「農」と「食」の魅力づくり

(1) 北播磨「農」と「食」の魅力発信

北播磨産の農畜産物や農産加工品を広くPRするイベントの実施や、ベルギー等で行われる日本酒国際コンテスト等への出品支援を行う。さらには市町等の地産地消イベントを応援する。

(2) 北播磨の特産農畜産物等育成促進事業

日本一の酒米「山田錦」、地域特産の「プラチナぶどう」「黒田庄和牛」「播州百日どり」等の生産力拡大や付加価値の向上、担い手の確保・育成を図る。

(3) 北播磨「農」「食」体験事業

道の駅や農産物直売所などの都市農村交流施設等を拠点として、来訪者のニーズに応じた農業体験や観光農園等を紹介・斡旋する仕組みを構築し、北播磨の魅力向上を図る。

(4) 新産地育成に向けた新品種導入チャレンジ事業【★】

コロナ禍の影響による日本酒の消費減少の中、主原料たる山田錦などの地域特産品に新たに加わる栽培品目を育成し、新たな産地ブランドを確立するとともに、農家所得の維持を図る。



【新品種導入に向けた研修】

2 「北播磨」魅力体験ツーリズム等による交流人口・関係人口の拡大

(1) 北播磨魅力体験ツーリズム【★】

北播磨の豊かで多彩な「農」と「食」に組み合わせた、ものづくり体験やインフラツアーに加えて、オンラインによる歴史文化体験ツアーを実施する。

(2) 北播磨インバウンド推進事業

ひょうご観光本部と連携し、国際商談会等による欧米豪をターゲットとしたゴルフ・観光資源・地場産業を組み合わせた旅行企画のプロモーションを展開し、インバウンド受入の定着・拡大を図る。



【播州織を使ったうちわづくり】

(3) 北播磨サイクル&フットパス推進事業

農と食などの多彩な地域資源を、サイクルルートとフットパスにより有機的につなげた周遊ルートにより、都市と農村の交流を推進し、北播磨地域の認知度の向上と交流の拡大を図る。

3 選ばれ、人が集う、未来の「北播磨」の地域づくり

(1) 高校生北播磨創生チャレンジ事業

高校生による山田錦等を活用した加工品開発、高校生レストラン等の地産地消活動や特産品の情報発信、世代間交流事業など高校生が主体となった地域づくりを促進する。

(2) 若者の北播磨企業への定着促進事業

ハローワーク・市町・経済団体と連携したマッチング機能の強化と情報発信により、若年労働者のUJIターンや地域内定着を促進する。

(3) 北播磨地域への移住促進事業

都市部（大阪・東京圏等）の移住希望者に対して、移住希望の検討熟度に応じた情報発信・移住相談、移住体験等を体系的に実施し、北播磨地域への移住人口の増加を促進する。

(4) 北播磨「山田錦」語り部の活動支援【★】

山田錦の栽培や地域の歴史・生活について精通した「山田錦」語り部による、小中学生等への出前授業や生産者等への講習会の実施を通じて地域内外に山田錦の素晴らしさを発信する。



【「山田錦」語り部養成講座】

人と地域がつながる“元気”な中播磨の創生

〔★：重点事業〕

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」を軸とした交流人口の増加を目指すとともに、山間部の緑豊かな自然や播磨灘の豊富な海の幸など多彩な地域資源を生かした魅力発信、ものづくり産業を支える若者・女性が活躍できる“元気”な中播磨の実現を目指す。

1 思わず訪れたいくなる中はりま

(1) 日本遺産“銀の馬車道・鉱石の道”推進〔★〕

ひょうごサイクリングモデルルート“銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート”全 222 キロを個人のペースで走行した完走者に「道の達人 222」などの称号を授与するとともに、スタートアップとしてイベントを開催する。



【銀の馬車道キャラクター】

(2) 姫路港の魅力アップ強化

姫路港起点のクルーズを実施し、同港の活性化と県民交流の賑わいづくりに取り組む。また、クルーズ客船寄港時のおもてなし活動に協力するクルーズサポーターの募集やクルーズセミナーを開催する。

2 若者・女性が活躍できる中はりま

(1) 中はりま企業PR大作戦（UJIターン対策）〔★〕

ポストコロナ社会における企業の多様な採用活動を推進するため、AI面接導入企業の支援のほか、播磨地域就職支援サイト「JOB播磨」での情報発信、理系大学生を対象とした中播磨企業研究&見学会を開催する。



【AI面接イメージ】

(2) 女性の活躍を促進する企業セミナー

女性が多様な働き方を実現しつつ、存分に企業で活躍できるような企業の事例や環境づくりを学ぶ。

3 活気とにぎわいのある中はりま

(1) ポストコロナ時代の「ものづくり」を考えるシンポジウム

生産現場でのテレワークが困難とされる「ものづくり」企業が、ポストコロナ時代を生き抜くために、IoTの活用など国内外の事例を学ぶとともに、中播磨の企業が持つ課題を抽出・共有し解決方法を図る。

(2) 中はりま農的暮らし定着支援

ポストコロナ社会において、若い子育て世代等が農村に住み、農業+αの農的な暮らし（半農半X*）で地域に定着できるよう、持続可能なCSA（地域支援型農業）や、農泊（農村で泊まる、味わう、体験する、買う）の取組をモデル的に支援する。*：Xは音楽や芸術活動、テレワーク等

(3) 中はりま食文化発信

欧州（フランス等）においてGIはりまの酒PRセミナーを欧州バイヤー向けに開催するほか、試飲会・商談会を開催し、販路開拓・販路拡大を図る。

(4) はりま・姫路の前どれ海の幸グレードアップ作戦〔★〕

“播磨のかき・あさり”生産拡大の新技術の普及や、白鷺サーモン・華姫さわらなどのブランド化の推進、特産品を使った新商品開発・販路開拓を支援促進する。

(5) 食と農で結ぶ夢街道づくり

夢前町のテロワール（土壌、気候、水、農業技術等）から生み出された農畜産物、郷土食や酒などを地域外の方に味わってもらい取組を支援する。



【GIはりまロゴ】

4 暮らしやすさNo.1の中はりま

(1) 伝統文化研修館

日本文化再発見シンポジウムや青少年伝統文化セミナー成果発表等、開設5周年事業を開催する。

(2) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業

先人達の努力や苦勞によって建設され、現在も受け継がれている歴史・文化的・技術的価値の高い中播磨の農業水利施設（水路〔疏水〕・ため池・井堰など）を後世へ継承し、啓発活動を行うとともに、子どもたちのふるさと意識の醸成を図る。

光と水と緑でつなぐ 元気・西播磨

〔★：重点事業〕

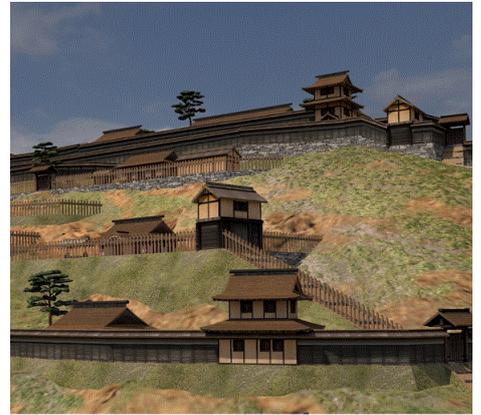
光（人・地域・産業がキラリと輝いている）、水（森・川・海が美しく連なっている）、緑（森林・農地・都市がいきいきと彩られている）が地域の隅々までネットワークを形成し、西播磨全体が元気に躍動することをめざす。

1 「ひょうごスタイル」を踏まえた播磨歴史回廊構築による交流人口の拡大

(1) 西播磨山城復活プロジェクトのステップアップ〔★〕

130以上ある山城や伝統文化体験等を活かし、山城巡り等を「近場で3密にならず健康にもいいレジャー」として普及させ、更なる誘客を図る。

- ・「近場の安心旅（山城モデルコース）」のPR（モデルコースマップ及び安全安心マップの作成）
- ・山城とシンボリックな武将によるイメージ戦略の展開（主要な11の山城（イレブン）ごとにゆかりの武将を当てはめ、イメージキャラクターを確立）
- ・山城ICTフル活用戦略（建築物が現存しない山城のCG作成や動画作成、山城イレブンデジタルスタンプラリー）
- ・地域団体が行う伝統文化体験メニューの立ち上げ・充実を支援



【感状山城復元図（山城アプリ・3月リリース予定）】

(2) 西播磨ならではのツーリズム推進

西播磨ツーリズム振興協議会を中心に、ツーリズム資源の魅力アップする事業や効果的な情報発信を行う。

(3) 姫新線利用促進・活性化対策

西播磨の地域資源を結ぶイベント列車（フルーツ収穫体験等）の運行等により姫新線をPRし、乗車人員300万人の維持を図る。

(4) 「西播磨フルーツ∞(エイト)」プロジェクト〔★〕

西播磨で生産される代表的なフルーツを「西播磨フルーツ∞(エイト)」としてPRする。

- ・旬の果物や収穫体験に関する情報発信、魅力的なスイーツ等の開発支援
- ・季節のフルーツを届けるパッケージ商品や年間契約商品の企画・販売支援



【西播磨フルーツ∞(エイト)】

2 ポストコロナ社会における自立した地域づくり

(1) 西播磨暮らしサポートセンターによる移住の促進〔★〕

移住相談や現地・Web空き家見学バスツアー、オーダーメイド型プチツアー等の実施により、西播磨への移住・定住を促進する。

(2) 西播磨版スマート農業の推進

水位センサーによる水管理などICTを活用し、土地改良施設等の維持管理や農作業における省力化・効率化を推進する。

(3) アグリビジネス展開サポート

農業生産・販売現場における感染防止対策や接触機会を減らす販売等の導入を支援するとともに、生産者と地元企業とのパートナーシップによる買い支えのしくみを構築する。

3 自然災害や感染症に備えた安全・安心な社会基盤整備

(1) 播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり

播磨科学公園都市を核とする放射状道路、環状道路を整備する。（姫路鳥取線（播磨新宮IC～中国自動車道）、竜泉那波線（2期工区）、赤穂佐伯線、太子御津線（茶ノ木踏切）等）

(2) 社会福祉施設BCPブラッシュアップ研修会

社会福祉施設等が作成した「事業継続計画（BCP）」をブラッシュアップするための研修会を開催する。

(3) ひょうご環境体験館リニューアル記念事業

令和3年のリニューアルオープンを記念し、講演会などを開催する。



【播磨新宮IC 施工状況】

（西播磨県民局総務企画室長 岡本 和久 0791-58-2103）

「あしたのふるさと但馬」を目指した地域創生の推進

〔★：重点事業〕

「あしたのふるさと但馬」を目指した地域創生の着実な推進を図るため、①交流人口対策による地域活力の向上と、②定住人口対策による人口減少の緩和を基本方向に施策展開を図る。また、これらを支える基幹道路ネットワークをはじめとする社会基盤づくりや安全・安心な地域づくりも併せて推進する。

1 あしたのふるさと但馬で交流する ～交流人口の拡大～

(1) 但馬を巡る周遊ツーリズムの推進 【★】

交流人口の拡大に向け、地域全体の観光振興策に取り組む。

- ・但馬ステップアップツーリズム戦略の推進（安心・安全プロモーション、在勤・在住外国人による母国向けPR促進）
- ・豊岡演劇祭と連携した但馬地域内周遊の促進（新たな周遊プランの造成）等



【豊岡演劇祭 2020】

『街角の恋人～湯けむりサーカス編～』

(2) 地域資源を生かした但馬の魅力醸成

但馬の豊かな地域資源を活用した先導的な取組を通じて、但馬の魅力醸成を図る。

- ・但馬の日本遺産を活用した地域の魅力づくりの推進（海外出身の地域おこし協力隊が鉱石の道4エリアを訪れる動画を制作し、SNSや道の駅等で発信）
- ・山陰海岸ジオパークの推進（ドローン等を活用した映像コンテンツの拡充、キッズ列車コンサート）
- ・コウノトリの棲める郷づくりの推進（コウノトリ未来国際かいぎの開催）等

2 あしたのふるさと但馬で暮らす ～定住対策の推進～

(1) 但馬暮らしの質を高める芸術の郷づくりの推進 【★】

専門職大学と連携したイベント開催等により、芸術文化に身近に触れられる地域づくりを推進する。

- ・専門職大学と連携した芸術の郷づくりの推進（シンポジウム開催、芸術家等による交流・情報交換会開催）
- ・芸術文化イベントの但馬全域での展開支援 等

(2) 但馬で暮らそう大作戦の推進

住まいの確保や就職支援などを総合的に実施し、定住者の増加を図る。

- ・但馬U・Iターン400人大作戦の推進（移住マッチングサイトを活用した情報発信）
- ・但馬で働こう大作戦の推進（オンライン合同説明会の開催） 等



【人と牛が共生する 美方地域の
伝統的但馬牛飼育システム】

(3) 但馬で育む農林水産資源の展開 【★】

但馬の豊かな農林水産資源を活用し、農林水産業の活性化を図る。

- ・コロナ社会に適応した但馬水産王国の再興（但馬産松葉ガニの統一キャンペーン）
- ・第3期但馬牛の生産基盤強化対策の推進（牛舎改修、農業遺産「但馬牛」PR） 等



但馬産松葉ガニ

【統一ロゴマーク】

3 あしたのふるさと但馬を支える ～基盤づくりの推進～

(1) 安全・安心な但馬づくりの推進

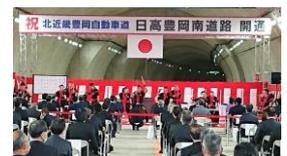
健康長寿社会の推進や風水害対策など防災対策の推進により、安全・安心な但馬づくりを推進する。

- ・精神障害者が障害者を支える基盤づくりの推進（ピアサポーターの活動拡大研修会の開催）
- ・風水害・津波対策の推進、防災サバイバル講座等による地域防災力の強化 等

(2) 但馬の魅力を支える基盤整備の推進

基幹道路の整備など、但馬の魅力を支える基盤づくりを推進する。

- ・基幹道路ネットワークの整備の推進（山陰近畿自動車道、北近畿豊岡自動車道）
- ・主要観光地へのアクセス道路整備の推進 等



【日高豊岡南道路開通式】
（北近畿豊岡自動車道）

（但馬県民局総務企画室長 下村 秀和 0796-26-3602）

進めよう 丹波の森づくり

〔★：重点事業〕

昭和63年9月に住民の総意として「丹波の森宣言」が採択され、丹波地域全体を一つの森に見立て、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。引き続き、住民・事業者・行政が一体となって、次の世代へとつないでいくため、4つの宣言に沿って施策を展開する。



＜宣言1＞ 森を大切に守り育てます。

(1) 丹波の里山づくりの促進

- ・モデル団体による活動をアドバイザー派遣等により継続的に支援するとともに、その過程を広く発信するための「森のかわら版」を発行。新たに活動を始める人・団体対象の里山づくり研修会等の開催

(2) 源流の里の水辺に親しむプロジェクト(水分れ域の生物観察ツアーやハイキングの実施、観察施設等の整備)

(3) 先端技術を活用したスマート農業の推進(モデル地域においてスマート農業機器のシェアリングを実証)

(4) 地域でため池を守るプロジェクト(特定ため池にQRコード付看板設置、ため池カード・ツーリズムマップ作成)

＜宣言2＞ 花と緑の美しい地域づくりを進めます。

(1) 桜つつみ回廊の美観保全(長寿命化計画に基づく罹患枝剪定・土壌改善・施肥等、ドローン空撮PR動画作成)

(2) たんば三街道主要ポイントの修景(街道シンボル標柱の改修、景観ビューポイントの整備)

＜宣言3＞ 個性豊かな地域文化を育てます。

(1) 恐竜化石フィールドミュージアムの推進

- ・ギネス世界記録認定「世界最小恐竜卵化石」研究者の講演と剖出(化石クリーニング)体験を組み合わせたりモット講座の開催
- ・レベル(初級・中級・上級)に応じた「フィールドミュージアム体験プログラム」の実施
- ・都市部での化石発掘体験会(アウトリーチ事業)の開催



【化石発掘体験会】

(2) 「再会! シューベルティアーデたんば」(PRイベントの開催〔商店街等でのフラッシュモブ、ミニコンサート等〕)

＜宣言4＞ 安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

(1) 移住・環流プロジェクトの推進【★】

- ・たんば暮らしファン交流カフェ、お試し滞在、移住コーディネーター設置、移住相談員等を対象とした研修・交流会の開催

(2) シリ丹バレー構築プロジェクトの推進(推進連絡会の設置、推進セミナーの開催)

(3) 女性による起業の促進(専門家によるビジネススキル連続講座、講座開催状況や起業内容のWeb発信)

(4) TAMBAブランド農産物の地域内外への魅力発信【★】

- ・「TAMBAブランド戦略会議」による推進(6次産業化ステップアップ講座、TAMBAブランド農産物取扱店(直売所、飲食店、農家民宿等)をガイドブック、Webで情報発信)
- ・丹波栗・丹波大納言小豆・山の芋の各フェアの開催
- ・生産者個人やグループによるECサイトの開設・ブラッシュアップ応援



【TAMBAブランド農産物】

(5) 酒米新品種「Hyogo Sake 85」のブランド育成

- ・作付面積拡大のための栽培研修会や栽培奨励金制度、ダム管理トンネルで熟成した日本酒のPR

(6) 体験・滞在型プログラムによるマイクロツーリズムの推進【★】

- ・「農家民宿交流ネットワーク」設立による相互協力体制の構築、課題解決に向けた研修会の開催
- ・四季の丹波「コト体験」の情報発信(満喫ガイド作成、Webサイト「ぶらり丹波路」による発信)
- ・コト体験コンテンツの新設・ブラッシュアップ支援
- ・大丹波(京都府の丹波地域含む)連携によるコト体験ドライブスタンプラリーの実施

(7) “兵庫丹波チャレンジ200”サイクルツーリズムの推進

- ・初級者向けサイクルイベントの開催(200km・1泊2日コースほか)、ルート案内看板や路面標示の設置

(丹波県民局県民交流室次長 柳瀬 長明 0795-73-3712)

世界が憧れる魅力あふれる淡路島の実現

〔★：重点事業〕

淡路花博 20 周年記念「花みどりフェア」の開催を好機と捉え、多くの人びとから選ばれる淡路島の魅力づくりを進めるとともに、住み続けたいくなる豊かな暮らしが将来にわたって持続できる地域の実現を目指す。

1 訪れたいくなる島づくり

(1) サイクリングアイランド淡路島の推進〔★〕

多くのサイクリストに人気の「アワイチ」（淡路島一周サイクリングルート）の更なる魅力アップのため、道路の路肩拡幅等による走行環境の整備、案内標識や休憩施設の充実を図る。また、淡路島ロングライド150の開催や全国各地のコースと連携した周遊スタンプラリーを実施する。



【淡路島ロングライド150】

(2) 地域資源を活かした観光振興

① 新たな観光スタイルによる誘客促進

淡路島の新たな観光スタイルを確立するため、健康維持と観光を繋げる「ウェルネストラベル」を促進するほか、インフルエンサーや Youtube を活用した観光情報の発信により誘客を促進する。

② 観光客が利用しやすい公共交通の実現

公共交通の路線情報や観光情報などを掲載したポータルサイトの開設や、スマホでのバスの乗り放題パスの発行等により公共交通の利便性向上を図る。

(3) 令和の「御食国」プロジェクトの推進〔★〕

「食の島あわじ」の実現を目指すため、島内の料理人、生産者等が連携し、オーベルジュ（宿泊施設を備えたレストラン）の誘致による食を堪能できる環境づくりや淡路島食材の新たなブランド化などを推進する。

2 コロナを乗り越える島の元気づくり

(1) あわじ環境未来島構想の推進

島内で放置竹林による環境悪化が懸念される中、新たな土壌改良材「竹混合ファイバー」の導入を促進し、棚田や県道の植樹帯における雑草防止など、竹資源の有効活用による放置竹林の拡大防止を図る。



【土壌改良材による効果試験】

(2) 淡路島への定住促進

あわじ暮らしの情報発信等を行うワンストップ相談窓口の運営やリモートによる移住案内ツアーの実施等により都市住民の転入を促進する。

(3) 農畜水産業の振興

新型コロナウイルスの影響を受けた畜産、花き等の経営回復のため、子牛飼育時の暑熱・寒冷対策やカーネーションの環境制御設備の導入等により、品質向上や販売力の強化を支援する。

3 安全・安心な島づくり

(1) 自然災害への備えの充実〔★〕

① 大規模自然災害に備えた地域防災力の向上支援

島内小中高校におけるマイ避難カードの作成を促進するほか、全島一斉総合防災訓練や津波防災フォーラムの開催により地域防災力の向上を図る。



【避難訓練の様子】

② 災害に備えた再生可能エネルギーの利用

エネルギーの自給自足を目指す淡路島の取組を活かし、大規模停電に備えて、太陽光発電の自家消費を促進する蓄電システムや電気自動車の電力を事業所電源に使用できる住宅充発電システム(V2H)の導入を支援する。

(淡路県民局総務企画室長 吉川 昭裕 0799-26-2001)

